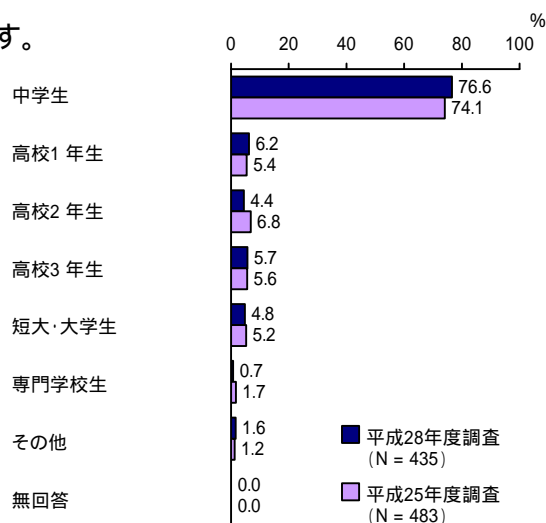


成人前調査の調査結果

問1 あなたは、次の中のどれにあてはまりますか（1つに ）。

「中学生」の割合が76.6%と最も高くなっています。



中学生は、全員2年生が回答しています。

問2 性別をお答えください（1つに ）。

中学生では、「男性」の割合が50.8%、「女性」の割合が47.1%となっています。

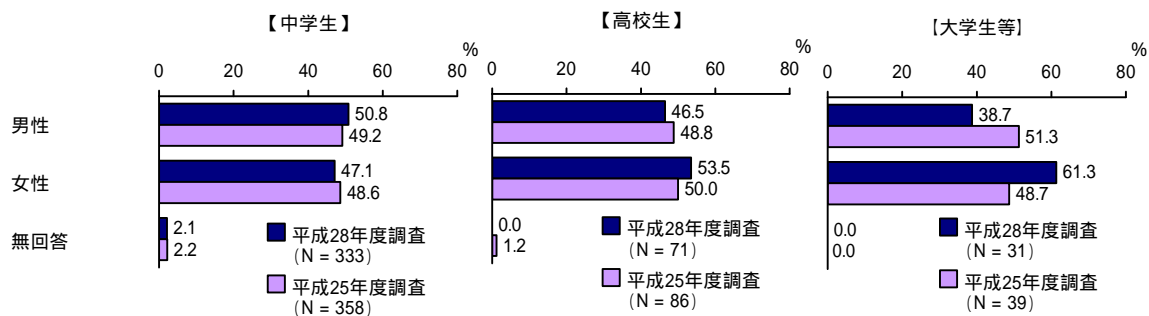
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「男性」の割合が46.5%、「女性」の割合が53.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

大学生等では、「男性」の割合が38.7%、「女性」の割合が61.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「女性」の割合が増加し、「男性」の割合が減少しています。



問3 一緒に暮らしているご家族はどなたですか（あてはまるものすべてに ）

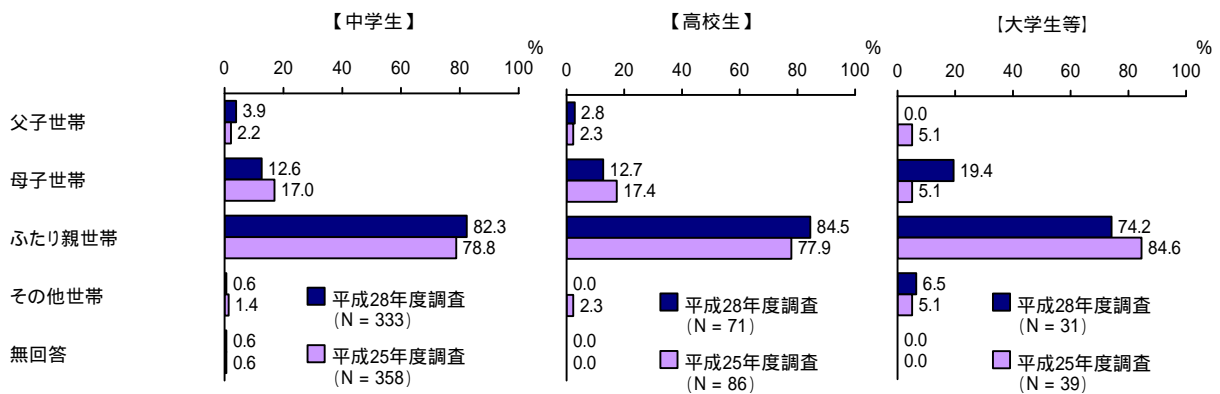
同居の家族から再区分した世帯類型は、中学生では、「ふたり親世帯」の割合が82.3%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が12.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「ふたり親世帯」の割合が84.5%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が12.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ふたり親世帯」の割合が増加しています。

大学生等では、「ふたり親世帯」の割合が74.2%と最も高く、次いで「母子世帯」の割合が19.4%となっています。



問4 兄弟姉妹についてお答えください（1つに ）

中学生では、「2人」の割合が44.4%と最も高く、次いで「3人」の割合が28.5%、「1人（自分だけ）」の割合が18.3%となっています。

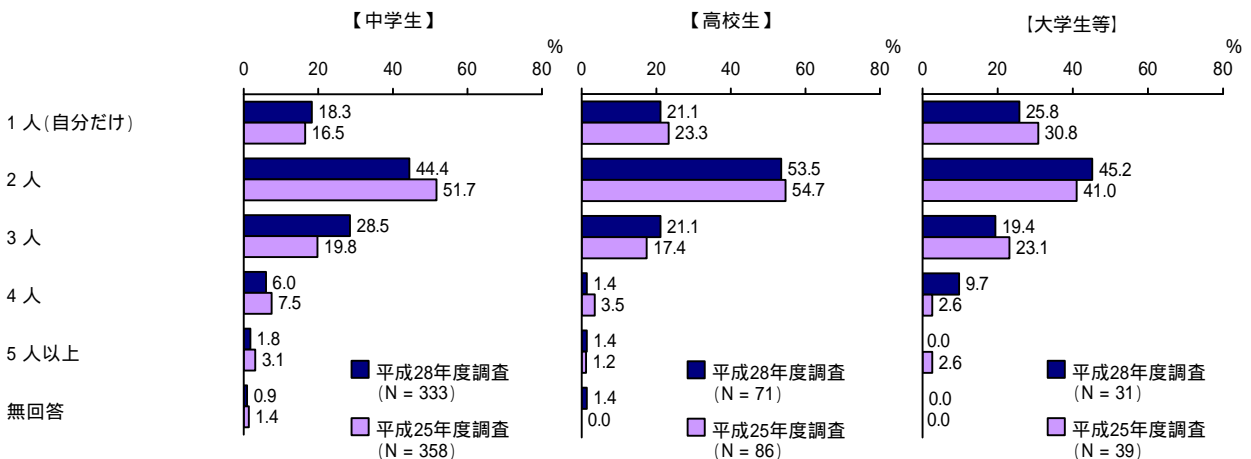
平成25年度調査と比較すると、「3人」の割合が増加し、「2人」の割合が減少しています。

高校生では、「2人」の割合が53.5%と最も高く、次いで「1人（自分だけ）」、「3人」の割合が21.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

大学生等では、「2人」の割合が45.2%と最も高く、次いで「1人（自分だけ）」の割合が25.8%、「3人」の割合が19.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「4人」の割合が増加し、「1人（自分だけ）」の割合が減少しています。



問5 お父さん・お母さんはどのような働き方ですか。(1)(2)それぞれにお答えください。

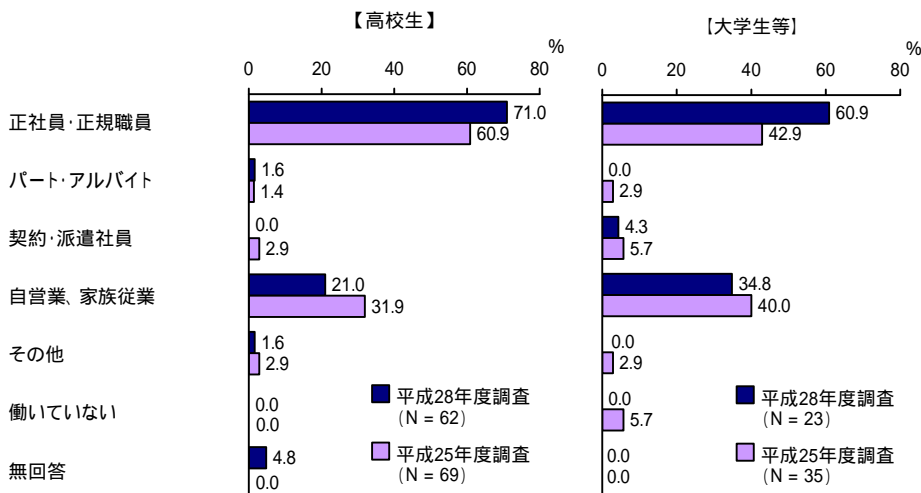
(1) 父親

高校生では、「正社員・正規職員」の割合が71.0%と最も高く、次いで「自営業、家族従業」の割合が21.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「正社員・正規職員」の割合が増加し、「自営業、家族従業」の割合が減少しています。

大学生等では、「正社員・正規職員」の割合が60.9%と最も高く、次いで「自営業、家族従業」の割合が34.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「正社員・正規職員」の割合が増加し、「自営業、家族従業」「働いていない」の割合が減少しています。



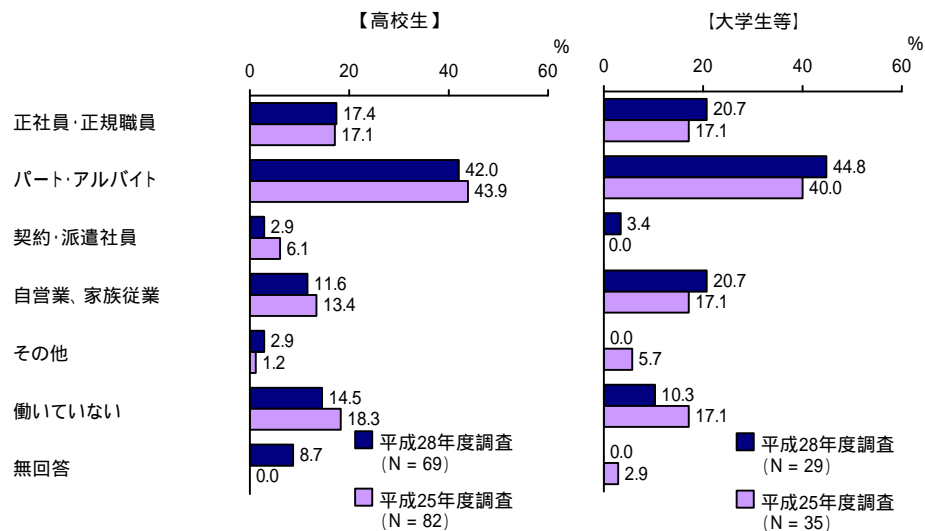
(2) 母親

高校生では、「パート・アルバイト」の割合が42.0%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」の割合が17.4%、「働いていない」の割合が14.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

大学生等では、「パート・アルバイト」の割合が44.8%と最も高く、次いで「正社員・正規職員」「自営業、家族従業」の割合が20.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が減少しています。



問6 そうじ、洗たく、食事のしたく、買物など家の用事をどのくらいしていますか(1つに)

中学生では、「ほぼ毎日」の割合が24.0%と最も高く、次いで「週に2～3日」の割合が21.0%、「週に1日」の割合が15.9%となっています。

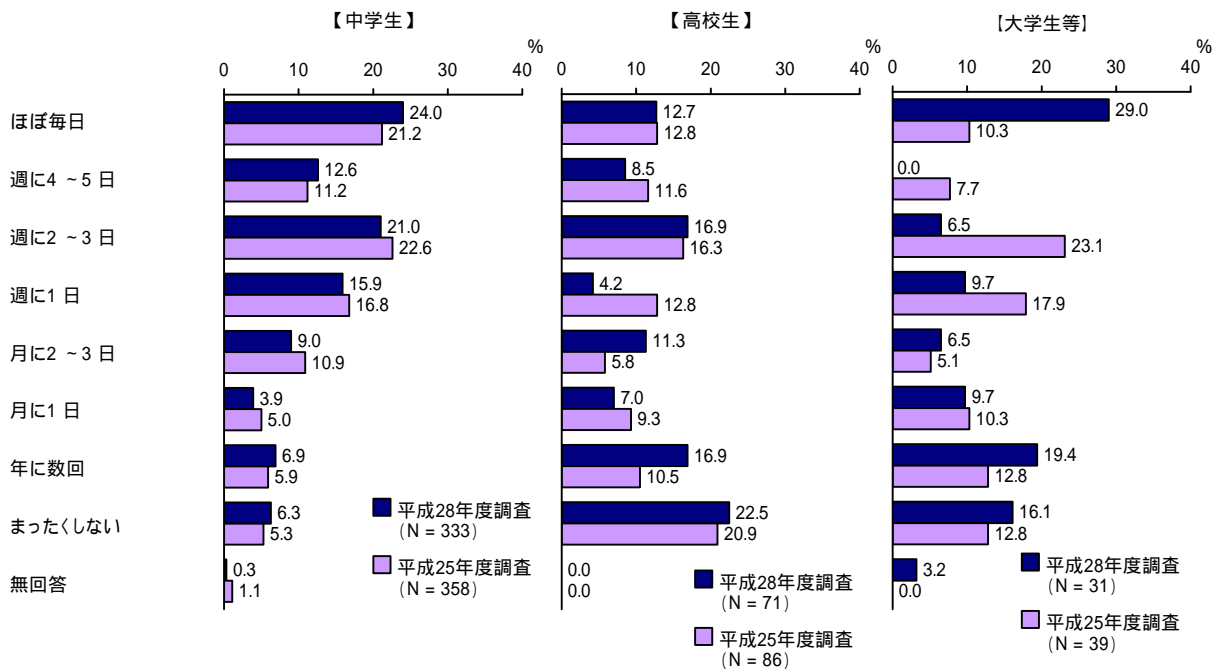
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「まったくしない」の割合が22.5%と最も高く、次いで「週に2～3日」、「年に数回」の割合が16.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「月に2～3日」「年に数回」の割合が増加し、「週に1日」の割合が減少しています。

大学生等では、「ほぼ毎日」の割合が29.0%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が19.4%、「まったくしない」の割合が16.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」「年に数回」の割合が増加し、「週に4～5日」「週に2～3日」「週に1日」の割合が減少しています。



問7 朝は自分で起きることができますか（1つに ）

中学生では、「自分で起きることが多い」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」の割合が 21.3%、「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が 15.6%となっています。

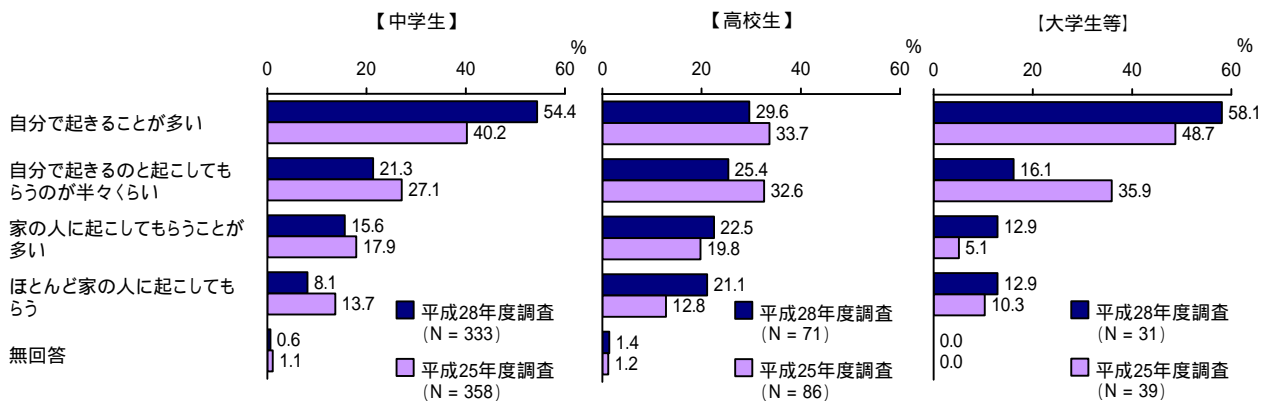
平成 25 年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」の割合が増加し、「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」「ほとんど家の人に起こしてもらう」の割合が減少しています。

高校生では、「自分で起きることが多い」の割合が 29.6%と最も高く、次いで「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」の割合が 25.4%、「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が 22.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ほとんど家の人に起こしてもらう」の割合が増加し、「自分で起きることが多い」「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」の割合が減少しています。

大学生等では、「自分で起きることが多い」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」の割合が 16.1%、「家の人に起こしてもらうことが多い」「ほとんど家の人に起こしてもらう」の割合が 12.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自分で起きることが多い」「家の人に起こしてもらうことが多い」の割合が増加し、「自分で起きると起こしてもらうのが半々くらい」の割合が減少しています。



問8 食事についてお聞きします(1つに)

毎日朝ごはんは食べていますか。

中学生では、「毎日食べている」の割合が80.2%と最も高く、次いで「食べない日もある」の割合が13.5%となっています。

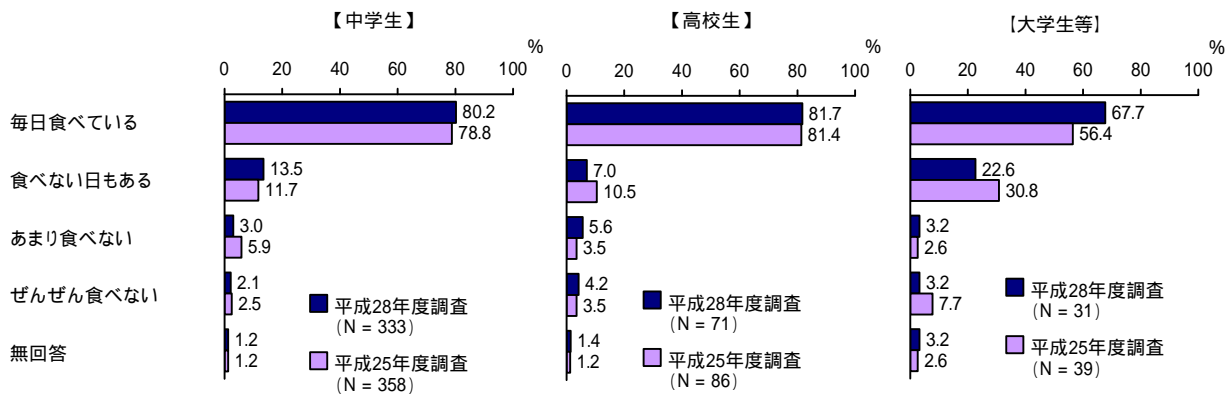
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「毎日食べている」の割合が81.7%と最も高くなっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

大学生等では、「毎日食べている」の割合が67.7%と最も高く、次いで「食べない日もある」の割合が22.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「毎日食べている」の割合が増加し、「食べない日もある」の割合が減少しています。

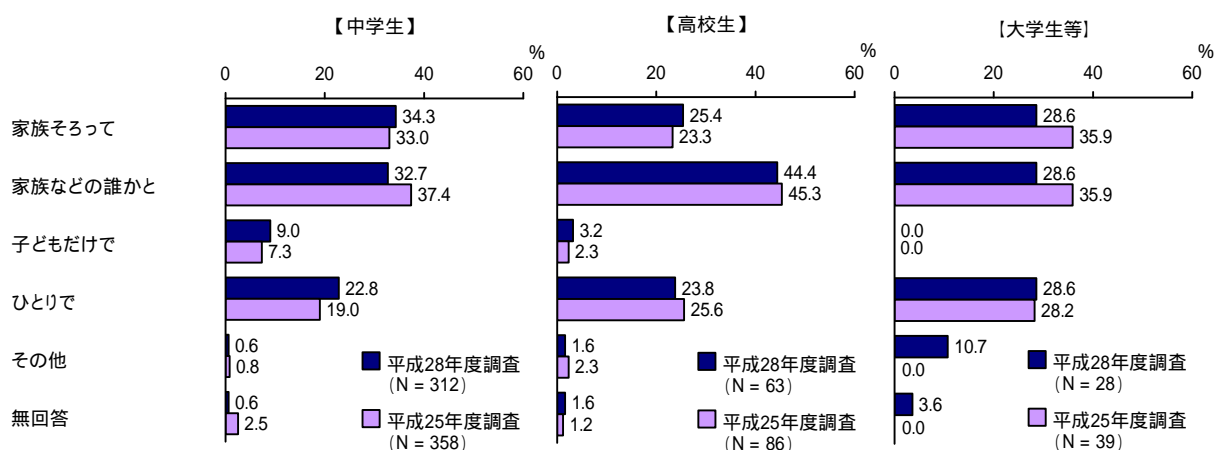


家でごはんはどのように食べることが多いですか（もっとも近いもの1つに ）

中学生では、「家族そろって」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「家族などの誰かと」の割合が 32.7%、「ひとりで」の割合が 22.8%となっています。

高校生では、「家族などの誰かと」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「家族そろって」の割合が 25.4%、「ひとりで」の割合が 23.8%となっています。

大学生等では、「家族そろって」、「家族などの誰かと」、「ひとりで」の割合が 28.6%となっています。



問8で「3.あまり食べない」「4.ぜんぜん食べない」につけた方にうかがいます。

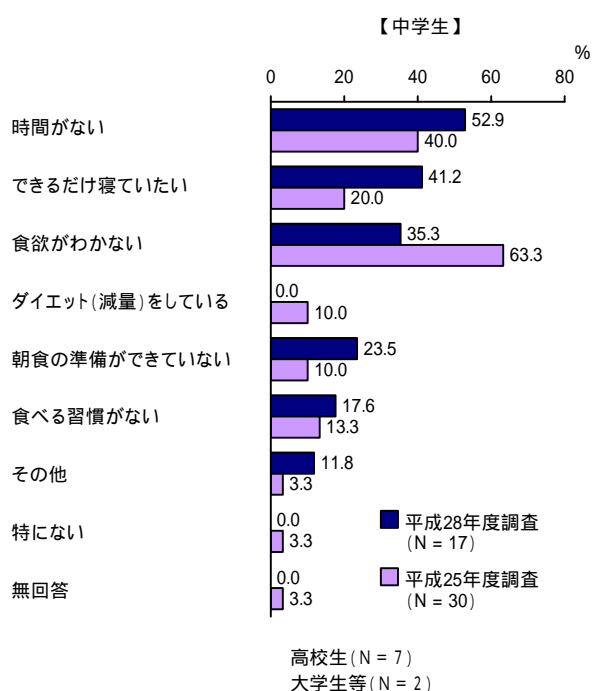
問9 朝ごはんを食べない（食べられない）理由は何ですか（あてはまるものすべてに ）

中学生では、「時間がない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「できるだけ寝ていたい」の割合が 41.2%、「食欲がわかない」の割合が 35.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「時間がない」「できるだけ寝ていたい」「朝食の準備ができていない」の割合が増加し、「食欲がわかない」「ダイエット（減量）をしている」の割合が減少しています。

高校生では、「食欲がわかない」が4件、「時間がない」、「できるだけ寝ていたい」が2件となっています。

大学生等では、「時間がない」が1件となっています。



【性別・年代別】

単位：%

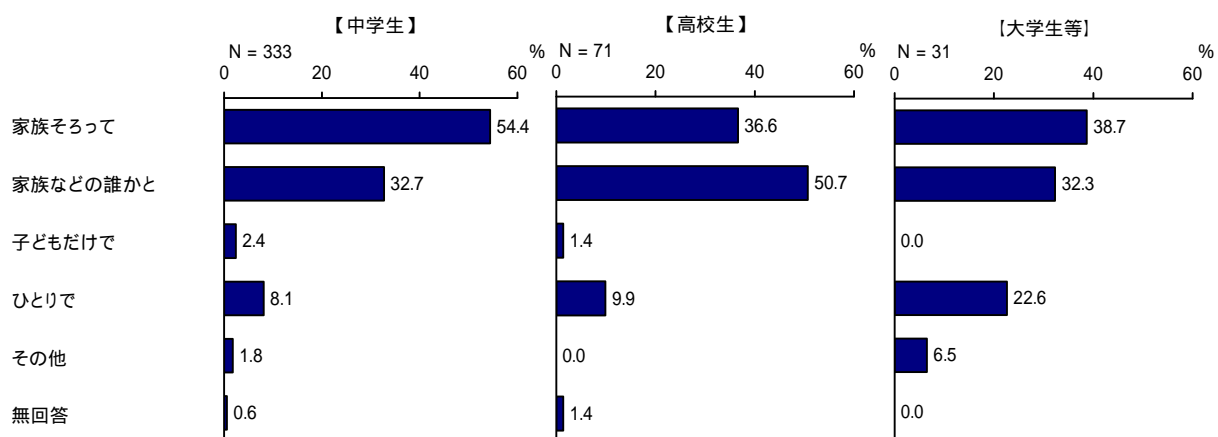
区分	有効回答数(件)	時間がない	できるだけ寝たい	食欲がわかない	ダイエット(減量)をしている	朝食の準備ができていない	食べる習慣がない	その他	特にない	無回答
全体	26	46.2	34.6	38.5	0.0	19.2	15.4	15.4	0.0	0.0
中学生	男性	10	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	女性	6	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
高校生	男性	4	25.0	25.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	女性	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
大学生等	男性	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	女性	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問 10 家で夕食はどのように食べることが多いですか(もっとも近いもの1つに)

中学生では、「家族そろって」の割合が 54.4%と最も高く、次いで「家族などの誰かと」の割合が 32.7%となっています。

高校生では、「家族などの誰かと」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「家族そろって」の割合が 36.6%となっています。

大学生等では、「家族そろって」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「家族などの誰かと」の割合が 32.3%、「ひとりで」の割合が 22.6%となっています。



問11 日頃、どの程度運動をしていますか(1つに)

中学生では、「ほとんど毎日」の割合が47.4%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が18.0%、「週4～5回」の割合が14.4%となっています。

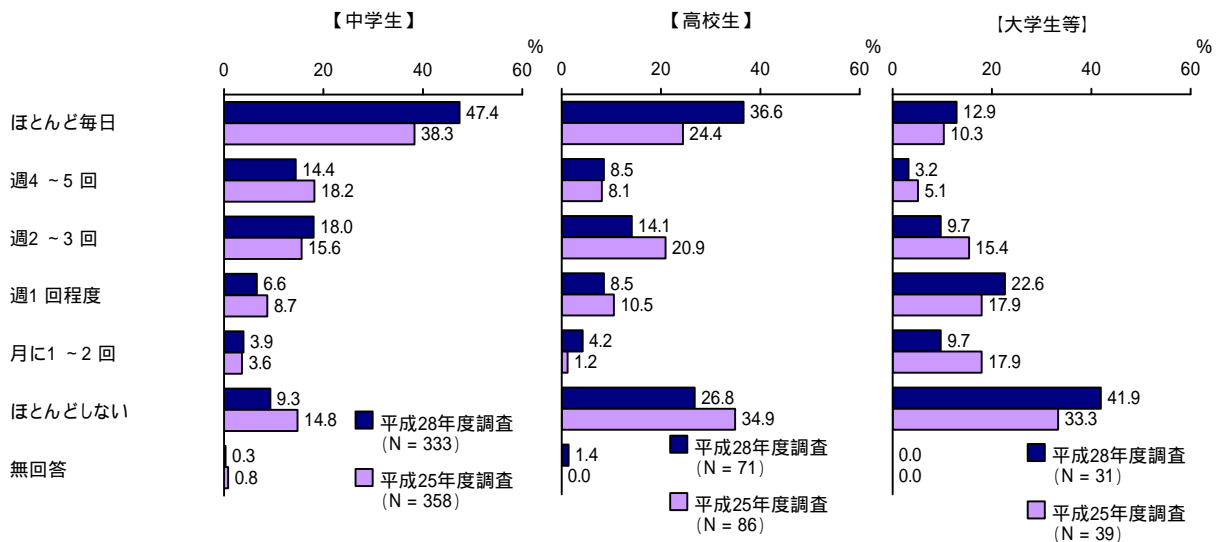
平成25年度調査と比較すると、「ほとんど毎日」の割合が増加し、「ほとんどしない」の割合が減少しています。

高校生では、「ほとんど毎日」の割合が36.6%と最も高く、次いで「ほとんどしない」の割合が26.8%、「週2～3回」の割合が14.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ほとんど毎日」の割合が増加し、「週2～3回」「ほとんどしない」の割合が減少しています。

大学生等では、「ほとんどしない」の割合が41.9%と最も高く、次いで「週1回程度」の割合が22.6%、「ほとんど毎日」の割合が12.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ほとんどしない」の割合が増加し、「週2～3回」「月に1～2回」の割合が減少しています。



【性別・年代別】

中学生の男女、高校生の男性で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。また、高校生の女性、大学生等の男女で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	ほとんど毎日	週4～5回	週2～3回	週1回程度	月に1～2回	ほとんどしない	無回答
全体		435	43.2	12.6	16.8	8.0	4.4	14.5	0.5
中学生	男性	169	56.8	16.6	15.4	3.6	3.6	4.1	0.0
	女性	157	37.6	12.1	21.7	10.2	4.5	14.0	0.0
高校生	男性	33	48.5	6.1	12.1	12.1	0.0	21.2	0.0
	女性	38	26.3	10.5	15.8	5.3	7.9	31.6	2.6
大学生等	男性	12	8.3	0.0	16.7	16.7	8.3	50.0	0.0
	女性	19	15.8	5.3	5.3	26.3	10.5	36.8	0.0

性別・年代別無回答者数：7人

問 12 月曜日から金曜日の放課後（学生でない人は夕方から夜にかけて）どんなことをすることが多いですか（主なもの3つまでに）

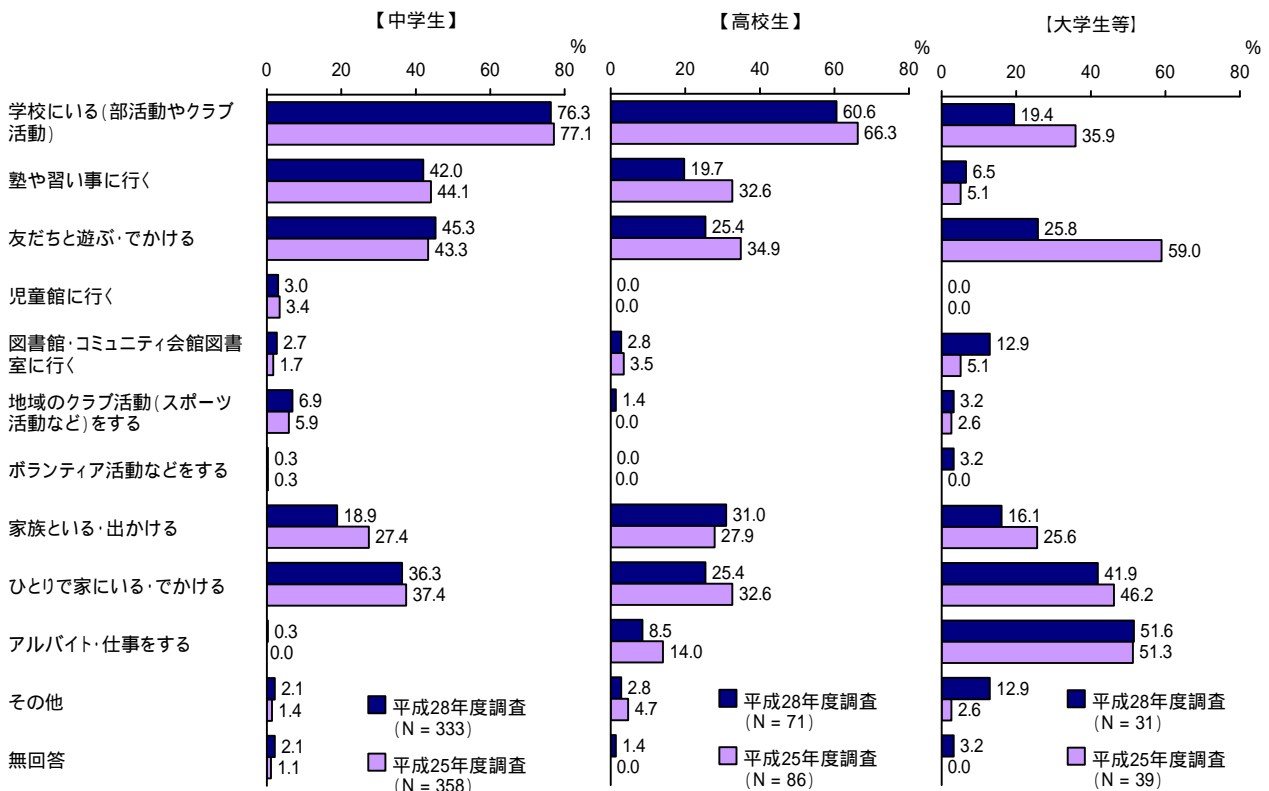
中学生では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が76.3%と最も高く、次いで「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が45.3%、「塾や習い事に行く」の割合が42.0%となっています。平成25年度調査と比較すると、「家族といる・出かける」の割合が減少しています。

高校生では、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」の割合が60.6%と最も高く、次いで「家族といる・出かける」の割合が31.0%、「友だちと遊ぶ・でかける」、「ひとりで家にいる・でかける」の割合が25.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」「塾や習い事に行く」「友だちと遊ぶ・でかける」「ひとりで家にいる・でかける」「アルバイト・仕事をする」の割合が減少しています。

大学生等では、「アルバイト・仕事をする」の割合が51.6%と最も高く、次いで「ひとりで家にいる・でかける」の割合が41.9%、「友だちと遊ぶ・でかける」の割合が25.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「図書館・コミュニティ会館図書室に行く」の割合が増加し、「学校にいる（部活動やクラブ活動）」「友だちと遊ぶ・でかける」「家族といる・出かける」の割合が減少しています。



問13 友だちと遊んだり、でかけたりするところはどこが多いですか(主なもの3つまでに)

中学生では、「近くの公園や広場など屋外」の割合が58.3%と最も高く、次いで「友だちの家」の割合が44.1%、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が26.7%となっています。

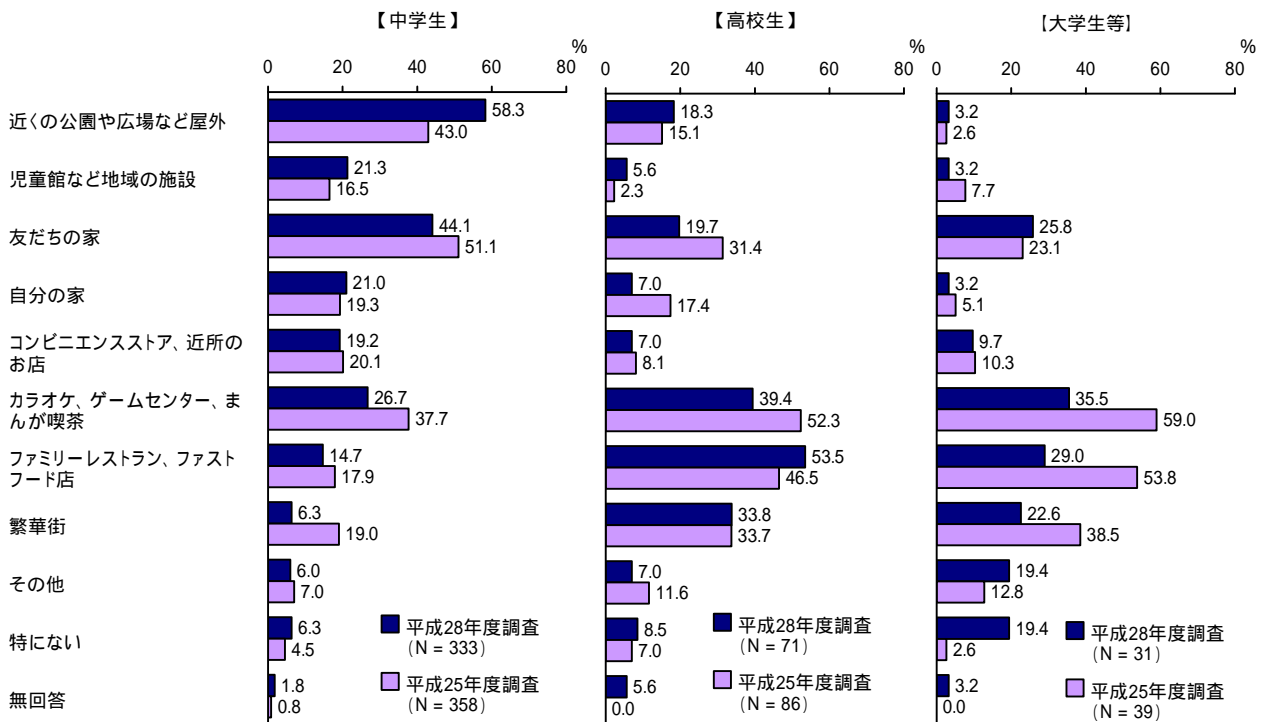
平成25年度調査と比較すると、「近くの公園や広場など屋外」の割合が増加し、「友だちの家」「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」「繁華街」の割合が減少しています。

高校生では、「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が53.5%と最も高く、次いで「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が39.4%、「繁華街」の割合が33.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が増加し、「友だちの家」「自分の家」「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が減少しています。

大学生等では、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」の割合が35.5%と最も高く、次いで「ファミリーレストラン、ファストフード店」の割合が29.0%、「友だちの家」の割合が25.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加し、「カラオケ、ゲームセンター、まんが喫茶」「ファミリーレストラン、ファストフード店」「繁華街」の割合が減少しています。

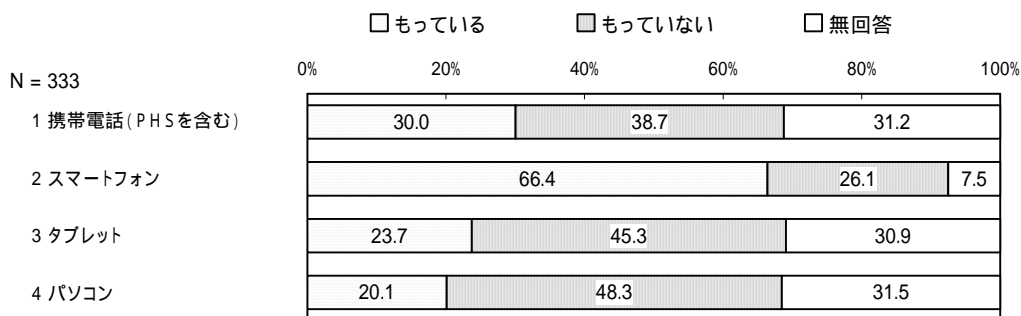


問 14 自分専用の携帯電話（PHSを含む）スマートフォン、タブレット、パソコンを持っていますか（1～4のそれぞれについて1つに）。また、持っている場合はそれを自分専用として使いはじめたのはいつ頃からですか。それぞれにお答えください。

（1）中学生

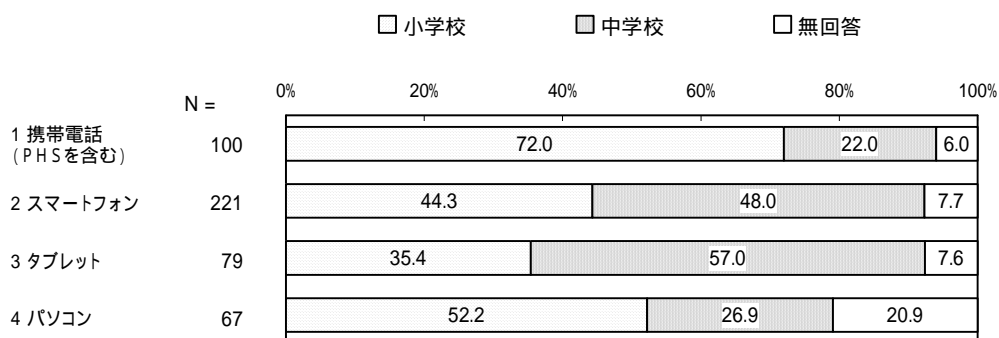
保有状況

中学生では、スマートフォンを「持っている」人の割合が6割を超えています。



自分専用として使い始めた時期

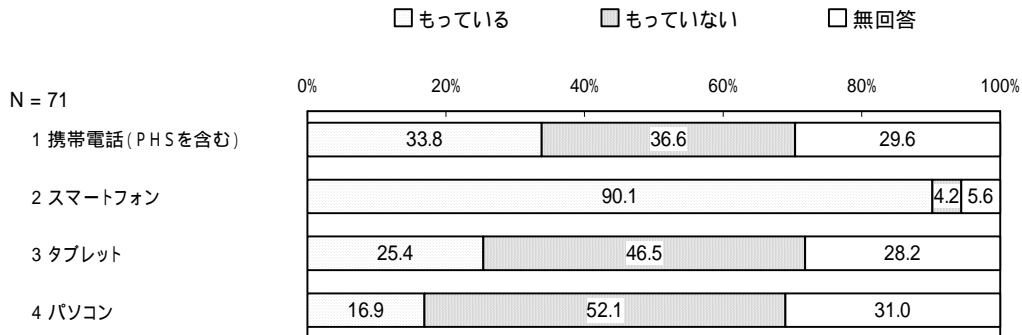
中学生では、携帯電話（PHSを含む）を「小学校」から使い始めた人の割合が約7割と高くなっています。また、パソコンも「小学校」から使い始めた人の割合が約5割と高くなっています。



(2) 高校生

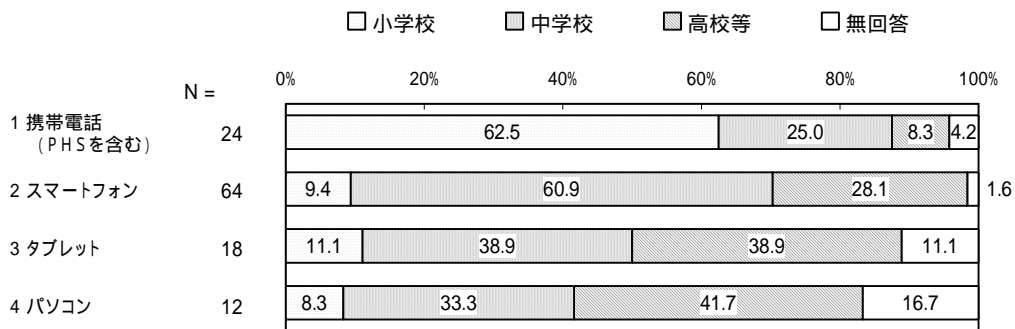
保有状況

高校生では、スマートフォンを「もっている」人の割合が約9割となっています。



自分専用として使い始めた時期

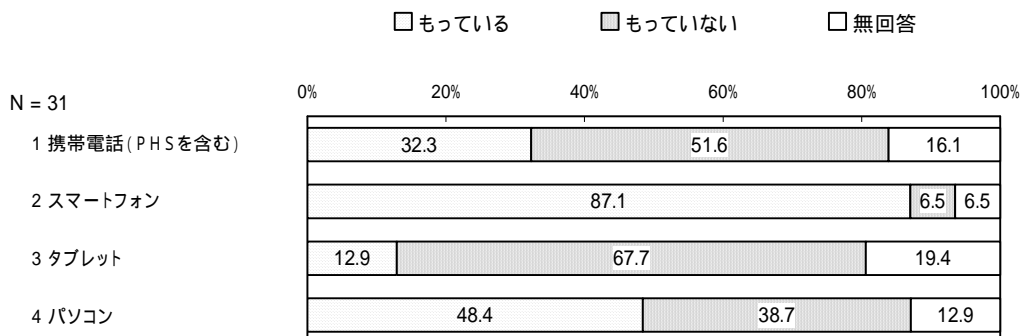
高校生では、携帯電話 (PHSを含む) を「小学校」から使い始めた人、スマートフォンを「中学校」から使い始めた人の割合が約6割となっています。



(3) 大学生等

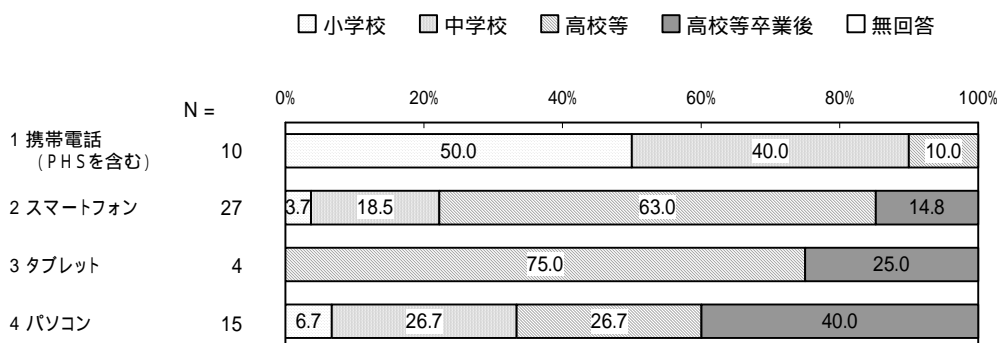
保有状況

大学生等では、スマートフォンを「もっている」人の割合が約9割となっています。



自分専用として使い始めた時期

大学生等では、携帯電話（PHSを含む）を「小学校」から使い始めた人の割合が約5割となっています。また、スマートフォン及びタブレットを「高校等」から使い始めた人の割合が6割以上となっています。



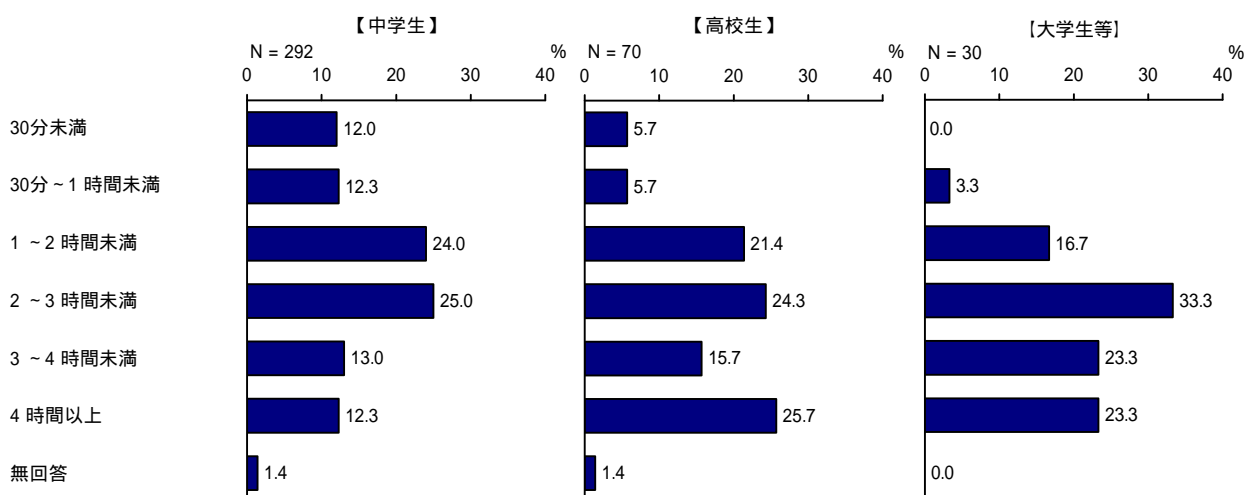
問 14 で 1～4 のどれかで「もっている」に をつけた方にうかがいます。

問 15 1日にどれくらいの時間利用しますか(1つに)

中学生では、「2～3 時間未満」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「1～2 時間未満」の割合が 24.0%、「3～4 時間未満」の割合が 13.0%となっています。

高校生では、「4 時間以上」の割合が 25.7%と最も高く、次いで「2～3 時間未満」の割合が 24.3%、「1～2 時間未満」の割合が 21.4%となっています。

大学生等では、「2～3 時間未満」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「3～4 時間未満」、「4 時間以上」の割合が 23.3%となっています。



問 16 どんな機能をつけていますか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「メール」の割合が76.0%と最も高く、次いで「インターネット（SNSやWebページ閲覧など）」の割合が74.7%、「ゲーム」の割合が70.2%となっています。

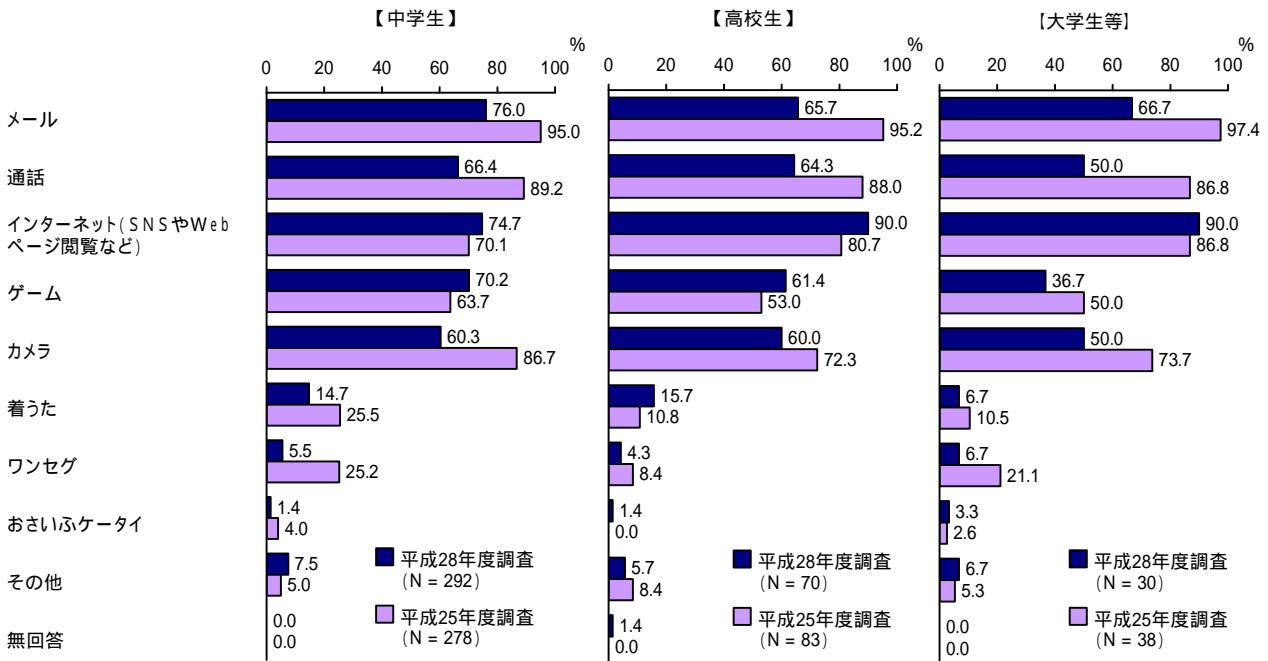
平成25年度調査と比較すると、「ゲーム」の割合が増加し、「メール」「通話」「カメラ」「着うた」「ワンセグ」の割合が減少しています。

高校生では、「インターネット（SNSやWebページ閲覧など）」の割合が90.0%と最も高く、次いで「メール」の割合が65.7%、「通話」の割合が64.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「インターネット（SNSやWebページ閲覧など）」「ゲーム」の割合が増加し、「メール」「通話」「カメラ」の割合が減少しています。

大学生等では、「インターネット（SNSやWebページ閲覧など）」の割合が90.0%と最も高く、次いで「メール」の割合が66.7%、「通話」「カメラ」の割合が50.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「メール」「通話」「ゲーム」「カメラ」「ワンセグ」の割合が減少しています。



問17 インターネットでどのようなことをしていますか（あてはまるものすべてに ）

中学生では、「調べもの」の割合が82.2%と最も高く、次いで「(音楽や動画等の)閲覧」の割合が72.9%、「ゲーム」の割合が52.4%となっています。

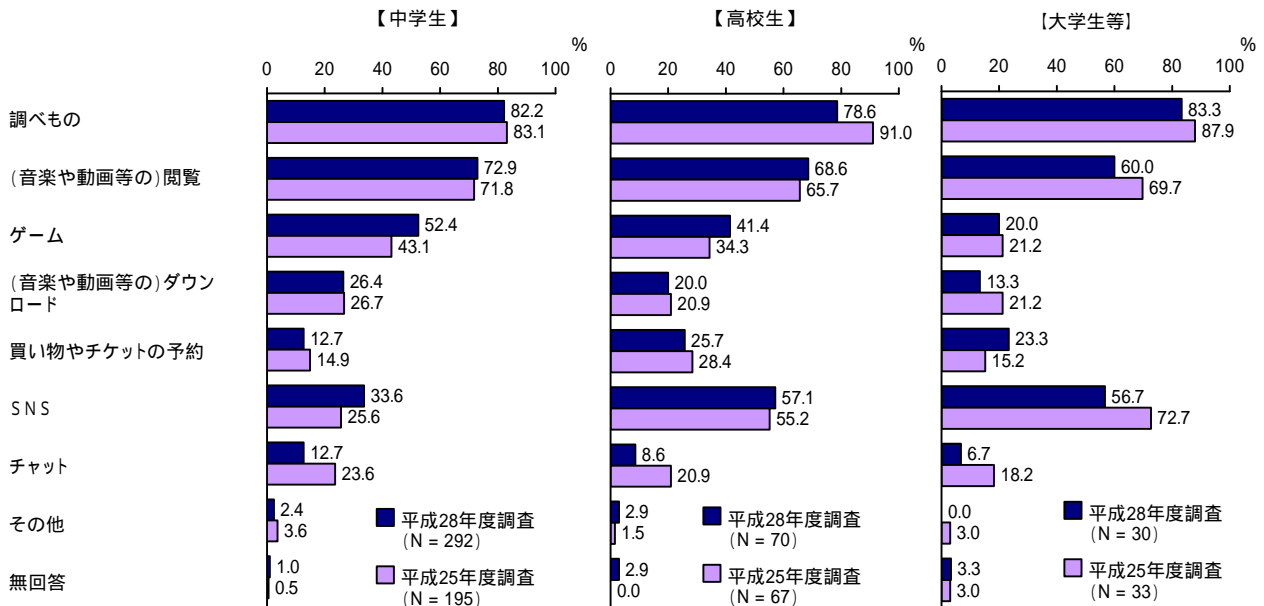
平成25年度調査と比較すると、「ゲーム」「SNS」の割合が増加し、「チャット」の割合が減少しています。

高校生では、「調べもの」の割合が78.6%と最も高く、次いで「(音楽や動画等の)閲覧」の割合が68.6%、「SNS」の割合が57.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「ゲーム」の割合が増加し、「調べもの」「チャット」の割合が減少しています。

大学生等では、「調べもの」の割合が83.3%と最も高く、次いで「(音楽や動画等の)閲覧」の割合が60.0%、「SNS」の割合が56.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「買い物やチケットの予約」の割合が増加し、「(音楽や動画等の)閲覧」「(音楽や動画等の)ダウンロード」「SNS」「チャット」の割合が減少しています。



問 18 携帯電話に、フィルタリングサービスまたは使いすぎ防止機能はついていますか
(1つに)

中学生では、「わからない」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「ついている」の割合が 33.9%、「ついていない」の割合が 13.7%となっています。

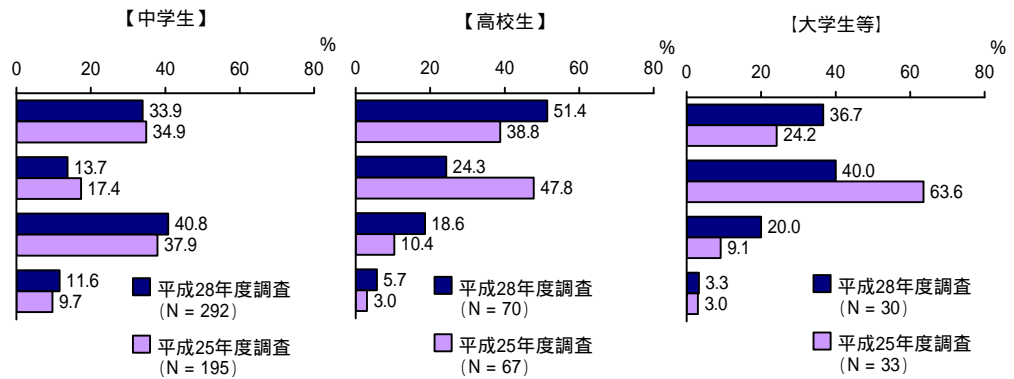
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「ついている」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「ついていない」の割合が 24.3%、「わからない」の割合が 18.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ついている」の割合が増加し、「ついていない」の割合が減少しています。

大学生等では、「ついていない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「ついている」の割合が 36.7%、「わからない」の割合が 20.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ついている」の割合が増加し、「ついていない」の割合が減少しています。

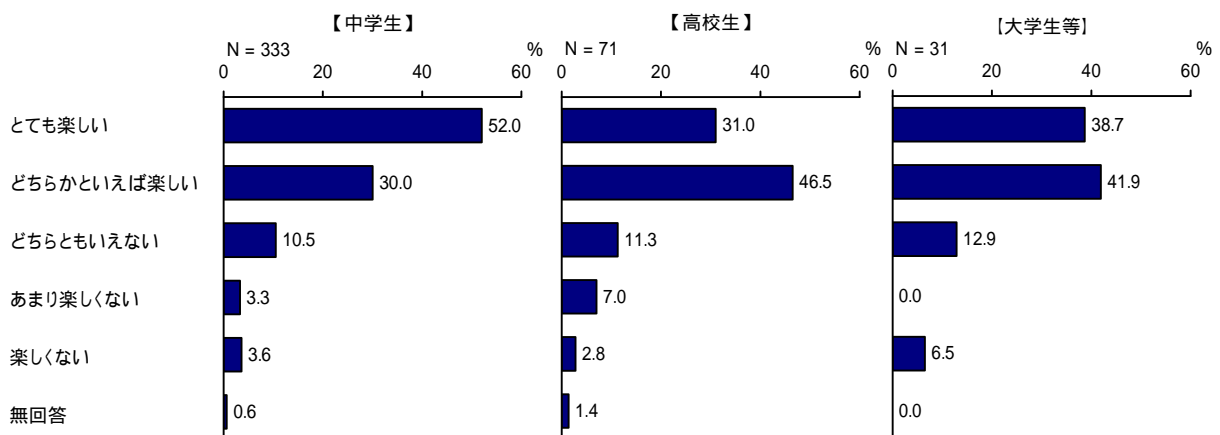


問 19 現在、生活は楽しいですか (1つに)。学校、家庭等のすべてを含んで回答ください。

中学生では、「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 82.0%、「どちらともいえない」の割合が 10.5%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が 6.9%となっています。

高校生では、“楽しい”の割合が 77.5%、「どちらともいえない」の割合が 11.3%、“楽しくない”の割合が 9.8%となっています。

大学生等では、“楽しい”の割合が 80.6%、「どちらともいえない」の割合が 12.9%、“楽しくない”の割合が 6.5%となっています。



問 20 今、どのようなことに関心がありますか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「音楽」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「スポーツ」の割合が 53.2%、「学校の部活動」の割合が 41.1%となっています。

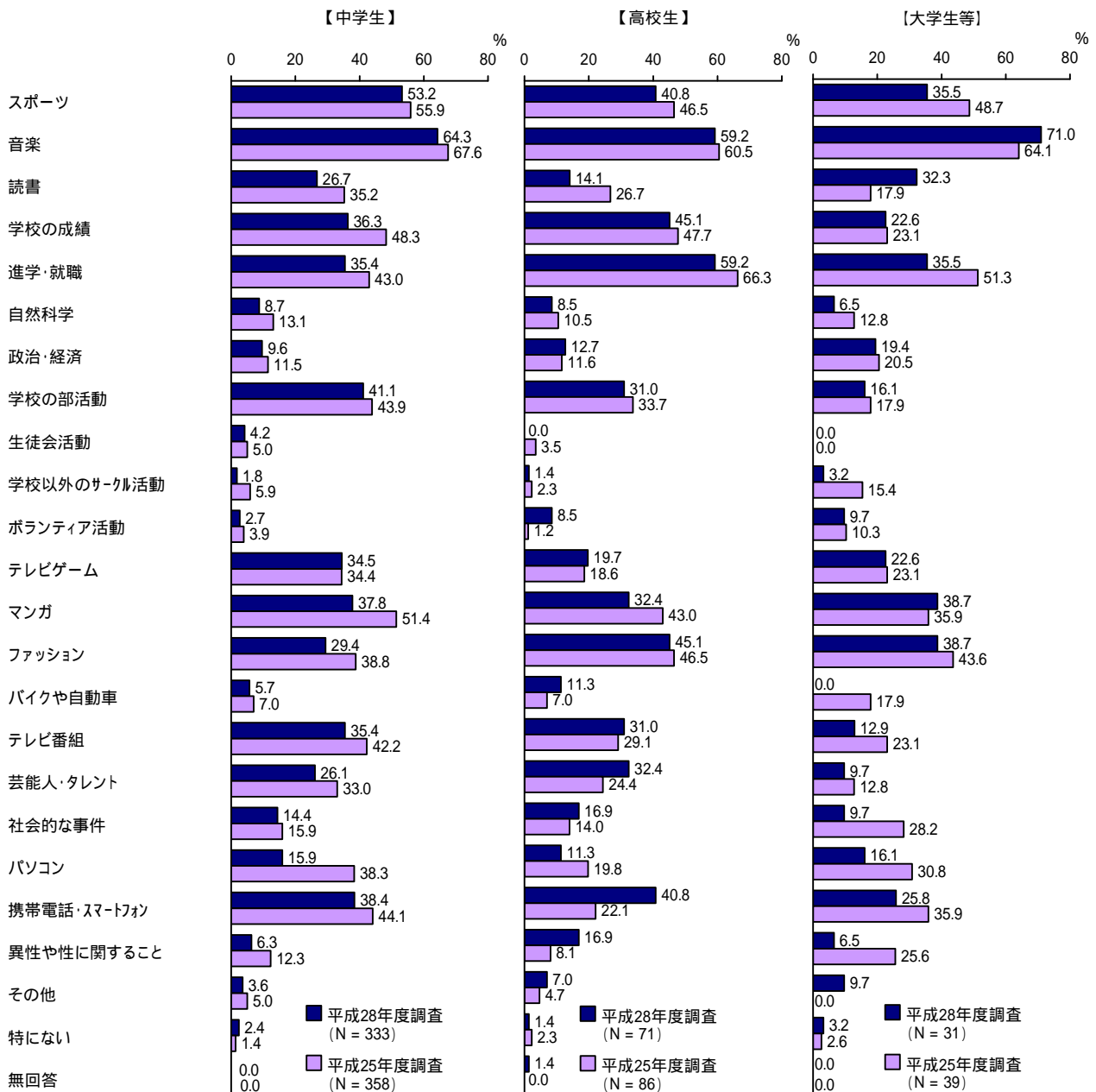
平成 25 年度調査と比較すると、「読書」「学校の成績」「進学・就職」「マンガ」「ファッション」「テレビ番組」「芸能人・タレント」「パソコン」「携帯電話・スマートフォン」「異性や性に関すること」の割合が減少しています。

高校生では、「音楽」、「進学・就職」の割合が 59.2%と最も高く、次いで、「学校の成績」、「ファッション」の割合が 45.1%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「ボランティア活動」「芸能人・タレント」「携帯電話・スマートフォン」「異性や性に関すること」の割合が増加し、「スポーツ」「読書」「進学・就職」「マンガ」「パソコン」の割合が減少しています。

大学生等では、「音楽」の割合が 71.0%と最も高く、次いで「マンガ」、「ファッション」の割合が 38.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「音楽」「読書」の割合が増加し、「スポーツ」「進学・就職」「自然科学」「学校以外のサークル活動」「バイクや自動車」「テレビ番組」「社会的な事件」「パソコン」「携帯電話・スマートフォン」「異性や性に関すること」の割合が減少しています。



問 21 悩みや心配なことがありますか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「勉強」の割合が61.3%と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が52.0%、「運動神経（能力）」の割合が31.2%となっています。

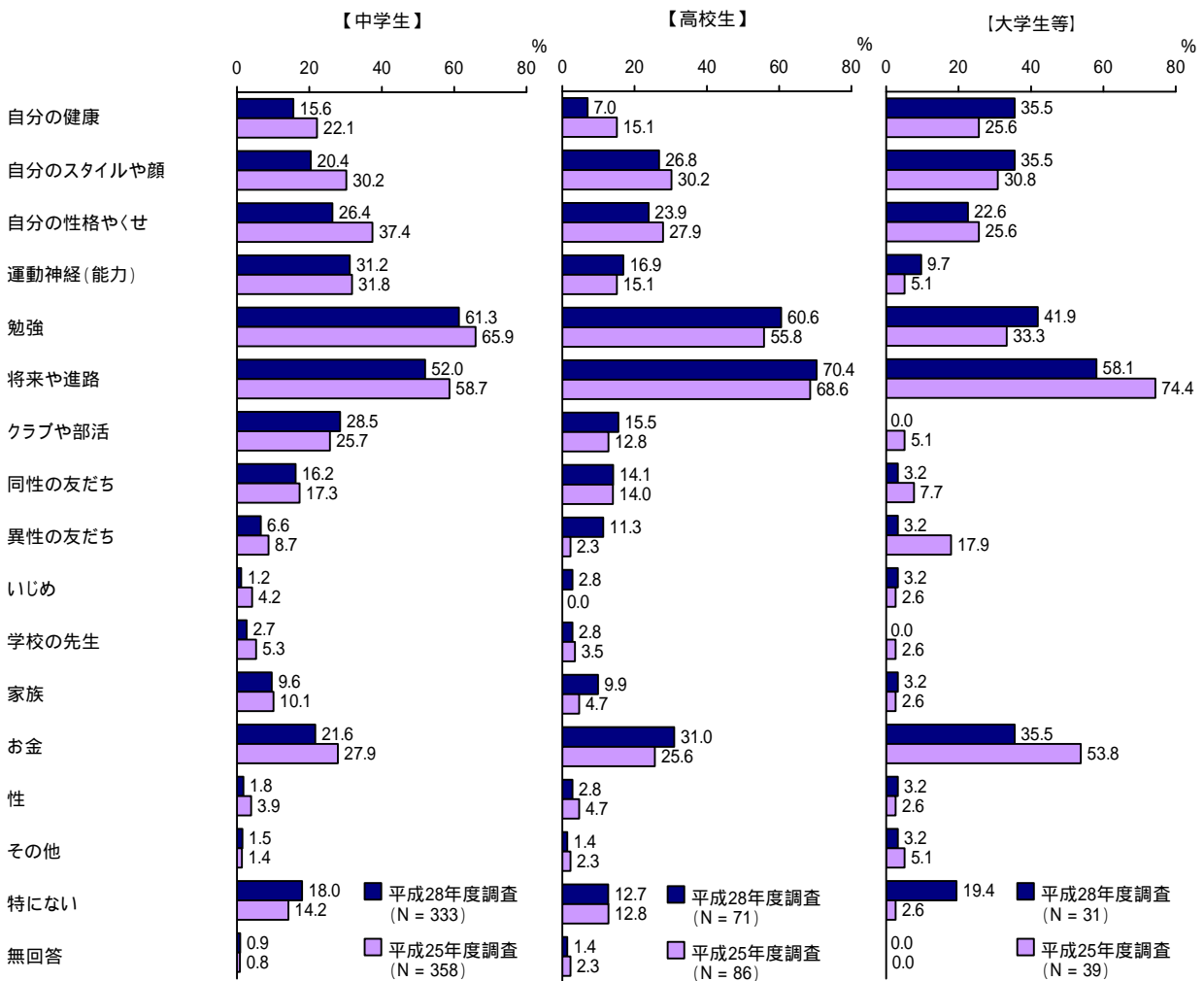
平成25年度調査と比較すると、「自分の健康」「自分のスタイルや顔」「自分の性格やくせ」「将来や進路」「お金」の割合が減少しています。

高校生では、「将来や進路」の割合が70.4%と最も高く、次いで「勉強」の割合が60.6%、「お金」の割合が31.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「異性の友だち」「家族」「お金」の割合が増加し、「自分の健康」の割合が減少しています。

大学生等では、「将来や進路」の割合が58.1%と最も高く、次いで「勉強」の割合が41.9%、「自分の健康」「自分のスタイルや顔」「お金」の割合が35.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自分の健康」「勉強」「特にない」の割合が増加し、「将来や進路」「クラブや部活」「異性の友だち」「お金」の割合が減少しています。



問 22 悩みや心配なことはだれに相談しますか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「友だち」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「母親」の割合が 42.9%、「誰にも相談しない」の割合が 13.5%となっています。

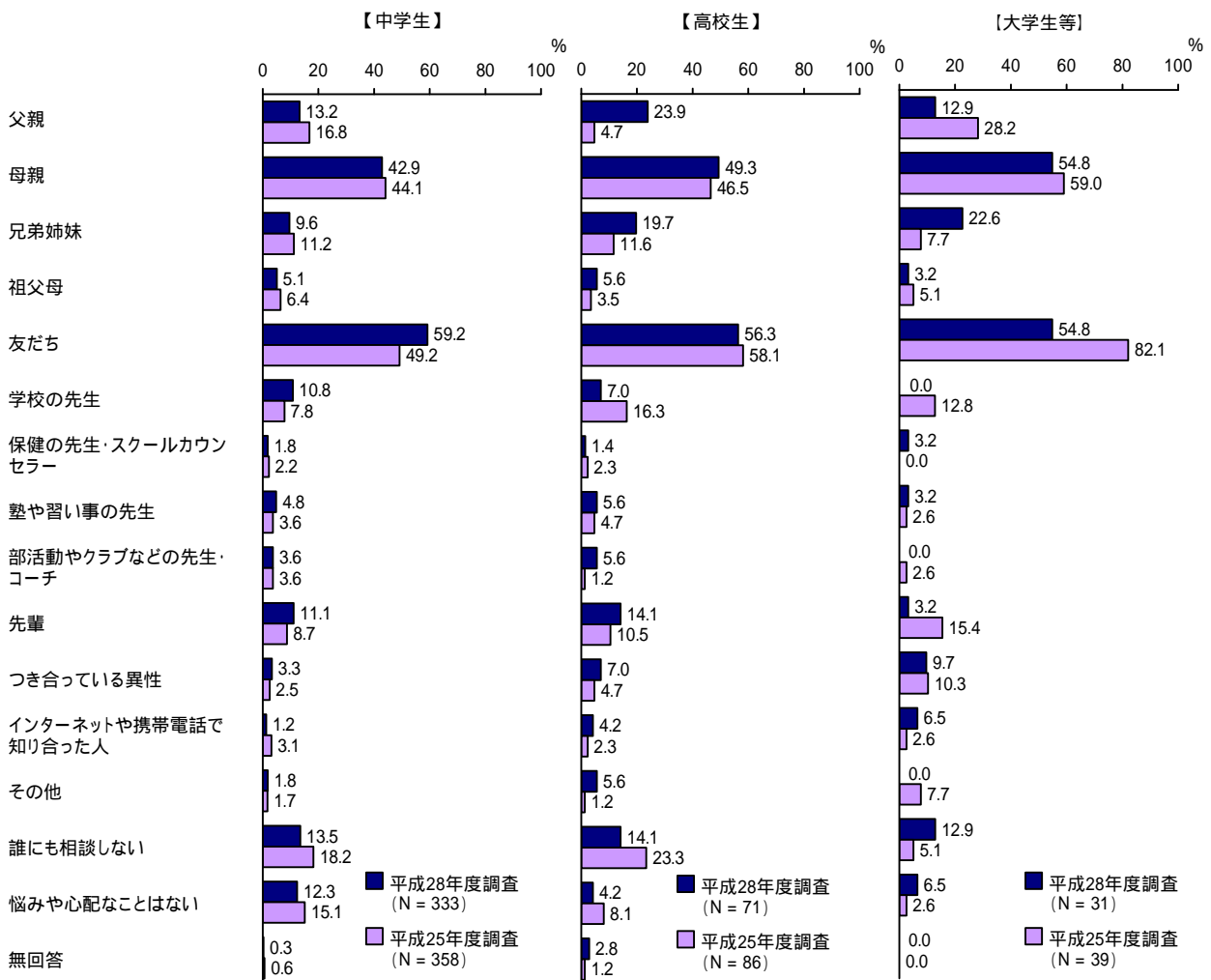
平成 25 年度調査と比較すると、「友だち」の割合が増加しています。

高校生では、「友だち」の割合が 56.3%と最も高く、次いで「母親」の割合が 49.3%、「父親」の割合が 23.9%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「父親」「兄弟姉妹」の割合が増加し、「学校の先生」「誰にも相談しない」の割合が減少しています。

大学生等では、「母親」「友だち」の割合が 54.8%と最も高く、次いで、「兄弟姉妹」の割合が 22.6%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「兄弟姉妹」「誰にも相談しない」の割合が増加し、「父親」「友だち」「学校の先生」「先輩」の割合が減少しています。



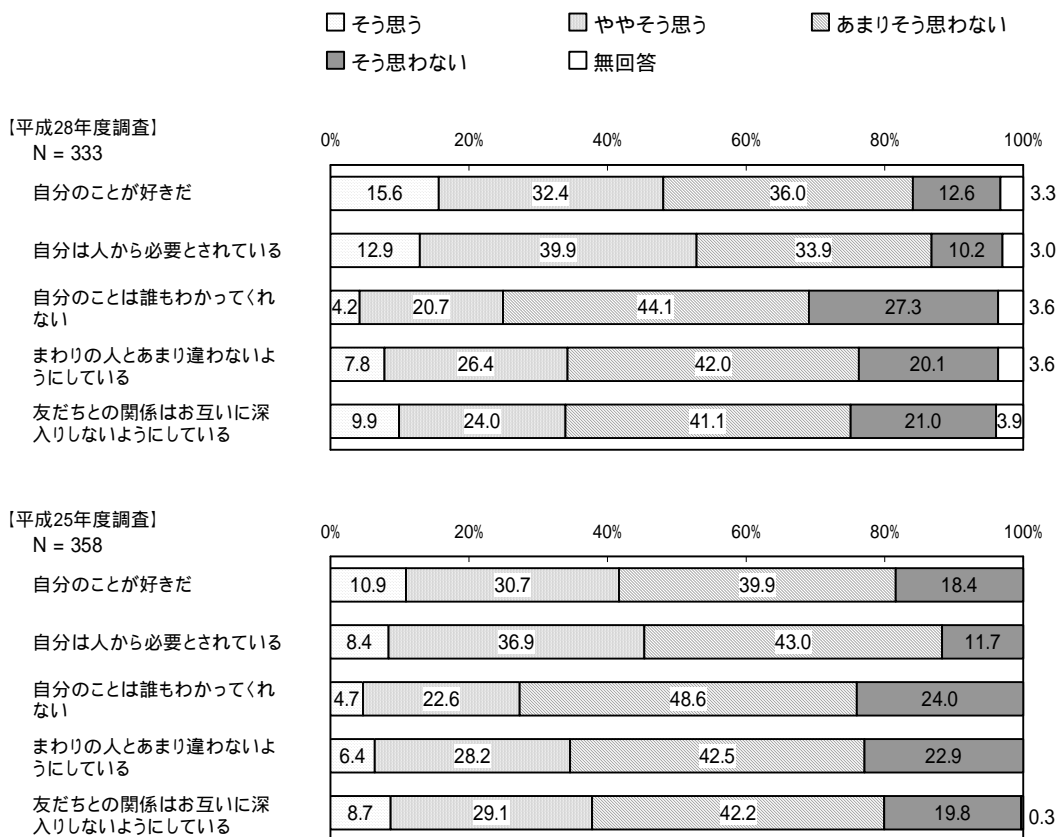
問 23 次の ~ の考え方や態度についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1~4の中から選んでください(それぞれ1つに)

(1) 中学生

自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。もっとも、自分のことが好きだでは「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が“そう思う”の割合とほぼ同じとなっています。

また、自分のことは誰もわかってくれないで“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで“そう思う”の割合が増加しています。



(2) 高校生

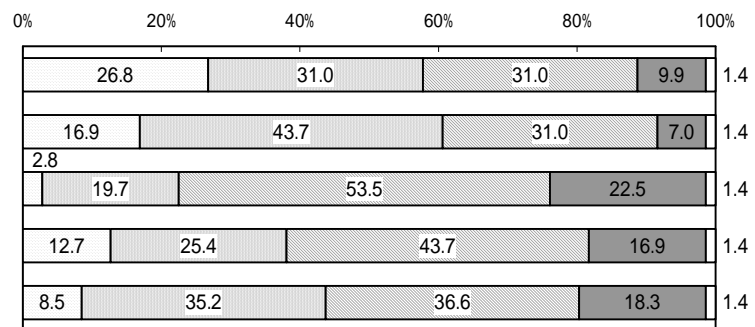
自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。また、自分のことは誰もわかってくれないで“そう思わない”の割合が高く、7割台半ばとなっています。

平成25年度調査と比較すると、自分のことは誰もわかってくれない、友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしているで“そう思う”の割合が増加しています。

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない
 ■ そう思わない □ 無回答

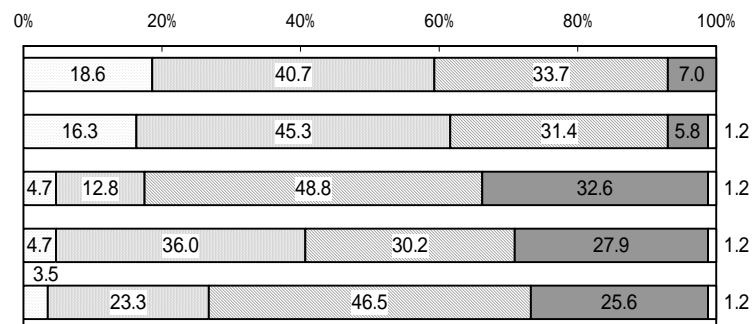
【平成28年度調査】
N = 71

自分のことが好きだ
 自分は人から必要とされている
 自分のことは誰もわかってくれない
 まわりの人とあまり違わないようにしている
 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



【平成25年度調査】
N = 86

自分のことが好きだ
 自分は人から必要とされている
 自分のことは誰もわかってくれない
 まわりの人とあまり違わないようにしている
 友だちとの関係はお互いに深入りしないようにしている



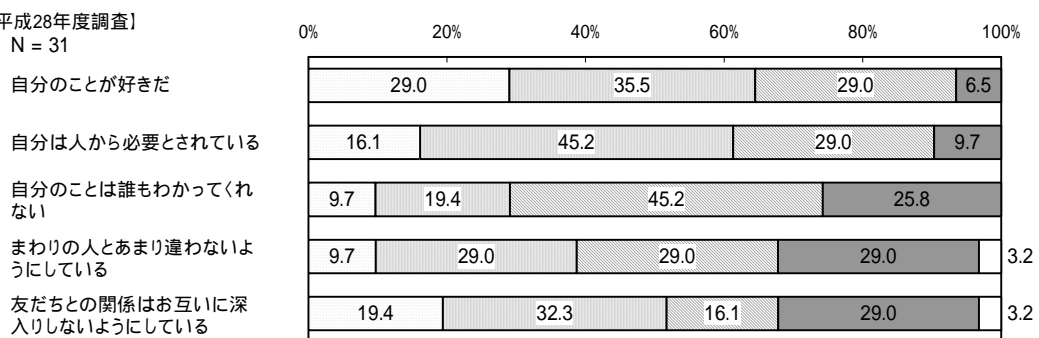
(3) 大学生等

自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。また、自分のことは誰もわかってくれないで“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

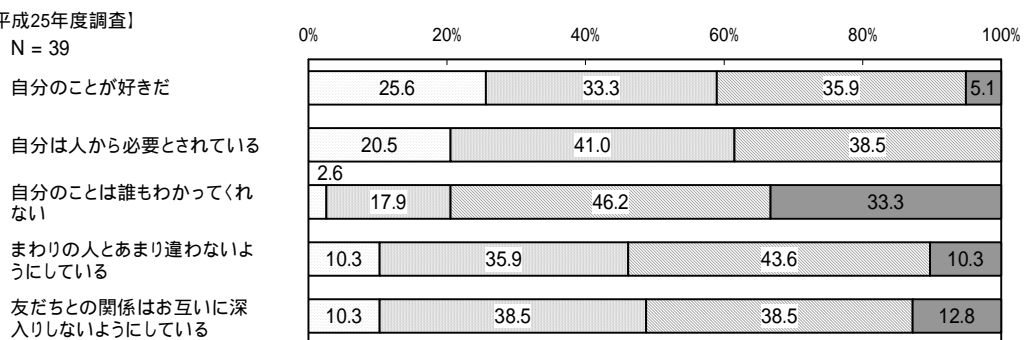
平成25年度調査と比較すると、自分のことが好きだ、自分のことは誰もわかってくれないで“そう思う”の割合が増加しています。また、まわりの人とあまり変わらないようにしているで“そう思う”の割合が減少しています。

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない
 ■ そう思わない □ 無回答

【平成28年度調査】
N = 31



【平成25年度調査】
N = 39



問 24 将来どんな仕事につきたいですか（あてはまるものすべてに ）

中学生では、「自分の能力に合った仕事」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 47.7%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」の割合が 40.8%となっています。

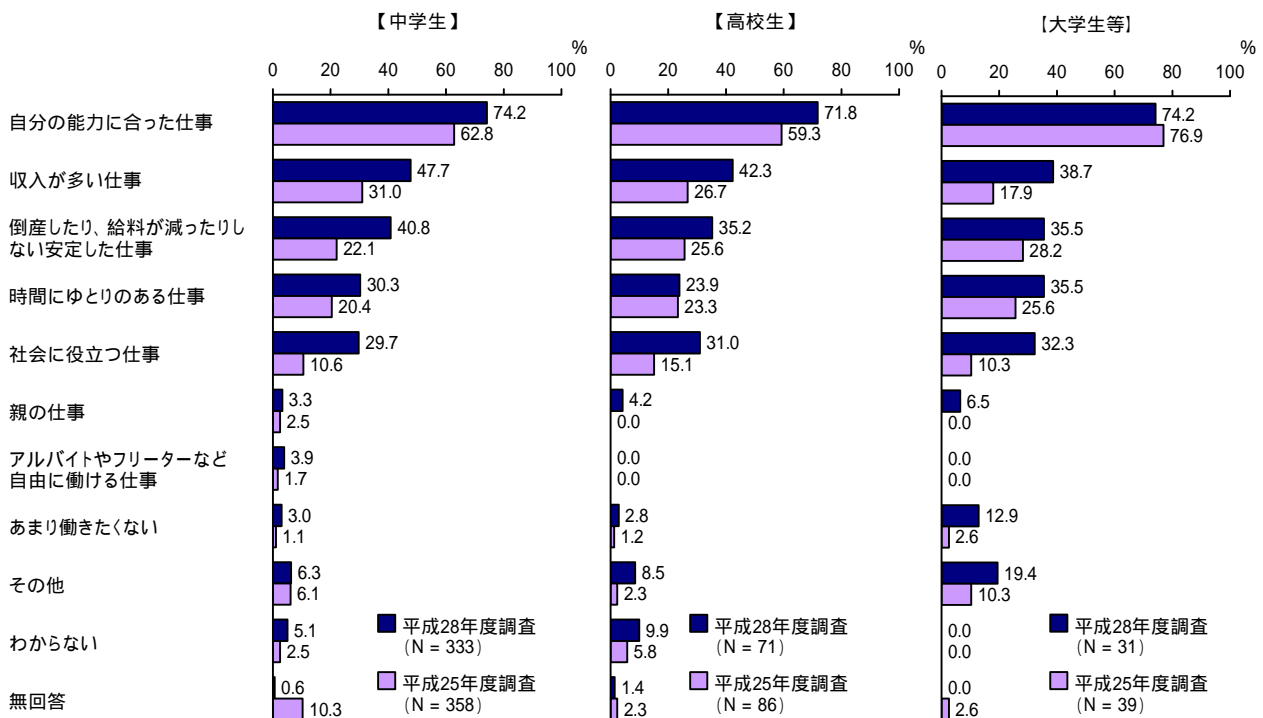
平成 25 年度調査と比較すると、「自分の能力に合った仕事」「収入が多い仕事」「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」「時間にゆとりのある仕事」「社会に役立つ仕事」の割合が増加しています。

高校生では、「自分の能力に合った仕事」の割合が 71.8%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 42.3%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」の割合が 35.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「自分の能力に合った仕事」「収入が多い仕事」「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」「社会に役立つ仕事」の割合が増加しています。

大学生等では、「自分の能力に合った仕事」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「収入が多い仕事」の割合が 38.7%、「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」「時間にゆとりのある仕事」の割合が 35.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「収入が多い仕事」「倒産したり、給料が減ったりしない安定した仕事」「時間にゆとりのある仕事」「社会に役立つ仕事」「親の仕事」の割合が増加するとともに、「あまり働きたくない」の割合が増加しています。

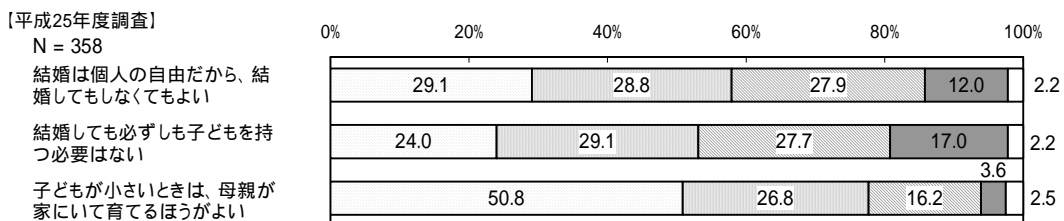
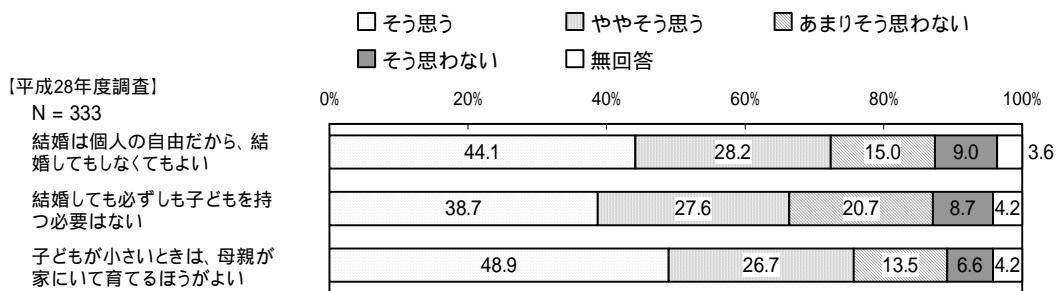


問 25 次の ~ の考え方についてどう思いますか。もっとも近いと思うものを1～4の中から選んでください(それぞれ1つに)

(1) 中学生

中学生では、いずれの項目でも「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、特に 子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいで7割台半ばとなっています。

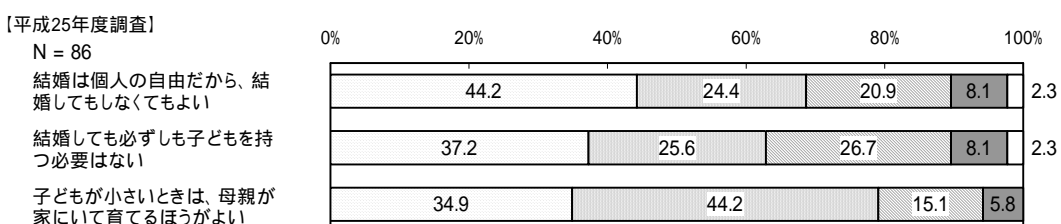
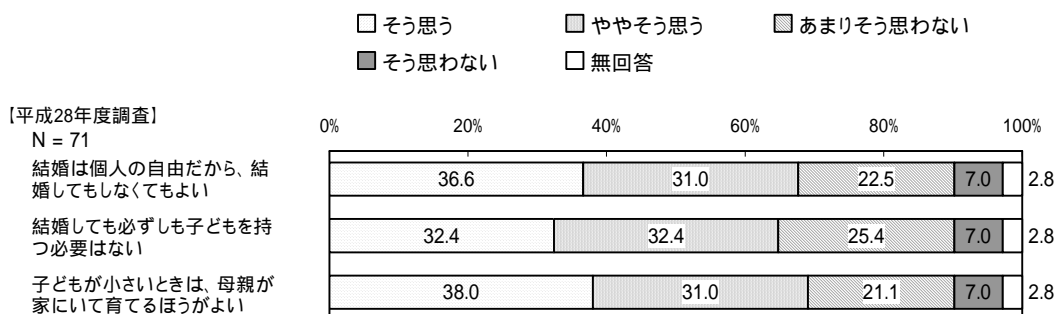
平成 25 年度調査と比較すると、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい、結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないで“そう思う”の割合が増加しています。



(2) 高校生

高校生では、いずれの項目でも“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。

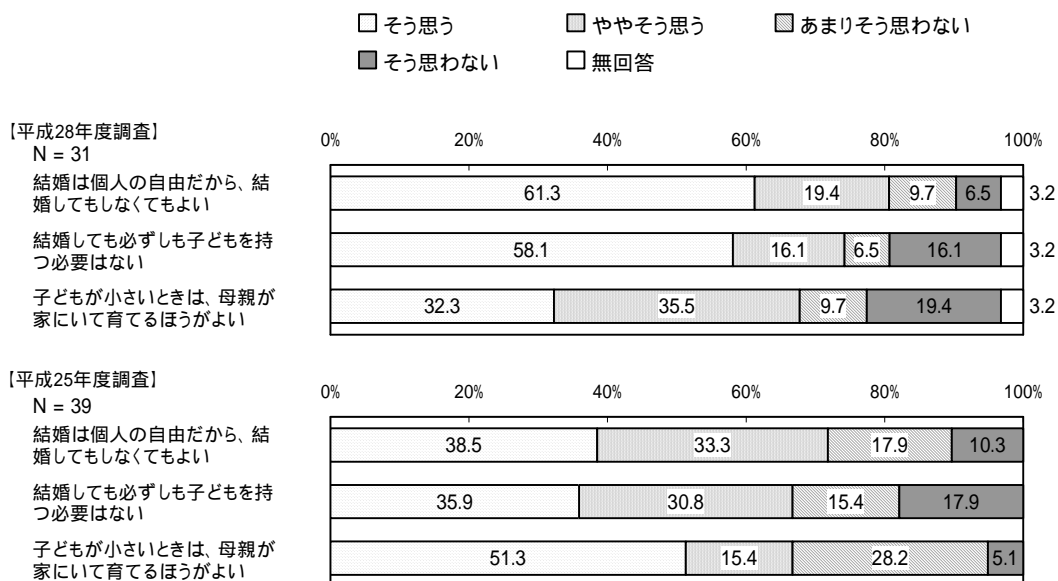
平成 25 年度調査と比較すると、子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいで“そう思う”の割合が減少しています。



(3) 大学生等

大学生等では、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよいで“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。

平成25年度調査と比較すると、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい、結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないで“そう思う”の割合が増加しています。



【性別・年代別】

結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい

大学生の女性で“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。また、高校生の男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	
全体	435	43.2	28.0	15.6	8.3	3.2	
中学生	男性	169	35.5	30.2	17.8	11.8	4.7
	女性	157	52.9	27.4	12.1	5.7	1.9
高校生	男性	33	33.3	24.2	30.3	9.1	3.0
	女性	38	39.5	36.8	15.8	5.3	2.6
大学生等	男性	12	50.0	16.7	16.7	8.3	8.3
	女性	19	68.4	21.1	5.3	5.3	-

性別・年代別無回答者数：7人

結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

中学生、大学生の女性で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。また、中学生、高校生の男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	そう思う	うや や そう 思	あまり そう 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		435	38.6	27.1	20.2	8.7	3.7
中学生	男性	169	36.1	21.3	26.6	10.1	5.9
	女性	157	42.0	34.4	14.6	7.0	1.9
高校生	男性	33	27.3	33.3	30.3	6.1	3.0
	女性	38	36.8	31.6	21.1	7.9	2.6
大学生等	男性	12	50.0	16.7	8.3	16.7	8.3
	女性	19	63.2	15.8	5.3	15.8	-

性別・年代別無回答者数：7人

子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよい

中学生、大学生の女性で“そう思う”の割合が高く、8割を超えています。また、大学生の男性で“そう思わない”の割合が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	そう思う	うや や そう 思	あまり そう 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答
全体		435	44.8	27.8	14.5	7.6	3.7
中学生	男性	169	39.6	29.0	13.6	11.8	5.9
	女性	157	58.0	24.8	14.0	1.3	1.9
高校生	男性	33	39.4	21.2	24.2	12.1	3.0
	女性	38	36.8	39.5	18.4	2.6	2.6
大学生等	男性	12	16.7	25.0	25.0	25.0	8.3
	女性	19	42.1	42.1	-	15.8	-

性別・年代別無回答者数：7人

問 26 結婚したいと思いますか（1つに ）

中学生では、「将来、結婚したいと思う」と「できれば結婚したいと思う」をあわせた“結婚したいと思う”の割合が64.8%、「あまり結婚したくない」と「結婚したくない」をあわせた“結婚したくない”の割合が8.4%となっています。

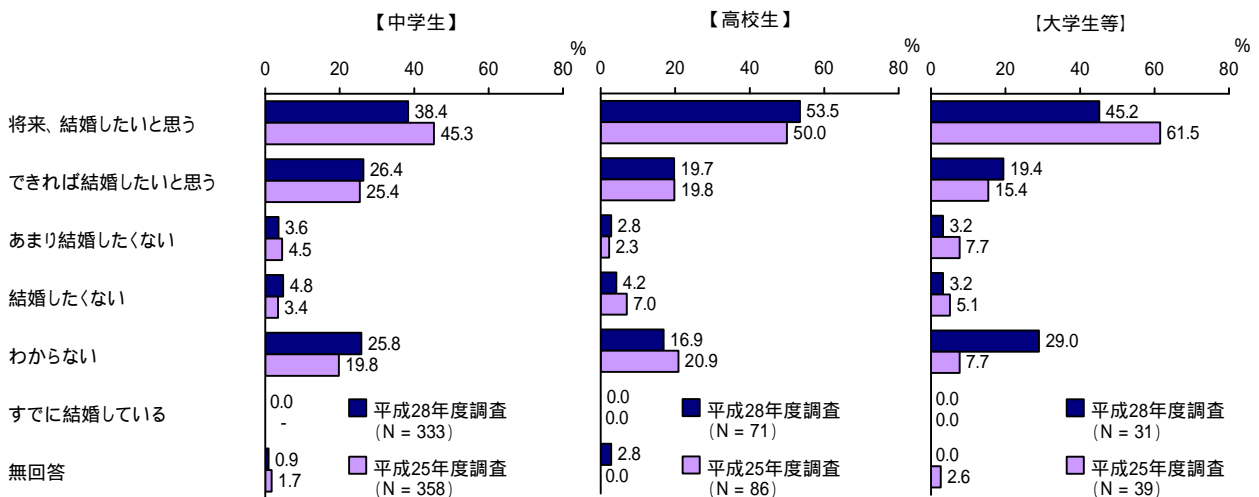
平成 25 年度調査と比較すると、「わからない」の割合が増加し、「将来、結婚したいと思う」の割合が減少しています。

高校生では、“結婚したいと思う”の割合が73.2%、“結婚したくない”の割合が7.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

大学生等では、“結婚したいと思う”の割合が64.6%、“結婚したくない”の割合が6.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「将来、結婚したいと思う」の割合が減少しています。



【性別・年代別】

中学生、高校生では女性で“結婚したいと思う”の割合が高くなっています。一方、大学生等では男性で“結婚したいと思う”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	将来、結婚したいと思う	できれば結婚したいと思う	あまり結婚したくない	結婚したくない	わからない	すでに結婚している	無回答	
全体	435	41.4	24.8	3.4	4.6	24.6	-	1.1	
中学生	男性	169	37.3	26.0	2.4	4.7	28.4	-	1.2
	女性	157	40.1	26.8	5.1	4.5	22.9	-	0.6
高校生	男性	33	54.5	15.2	-	6.1	21.2	-	3.0
	女性	38	52.6	23.7	5.3	2.6	13.2	-	2.6
大学生等	男性	12	41.7	25.0	-	-	33.3	-	-
	女性	19	47.4	15.8	5.3	5.3	26.3	-	-

性別・年代別無回答者数：7人

問 27 子どもを何人ほしいと思いますか（1つに ）

中学生では、「2人」の割合が39.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.3%となっています。

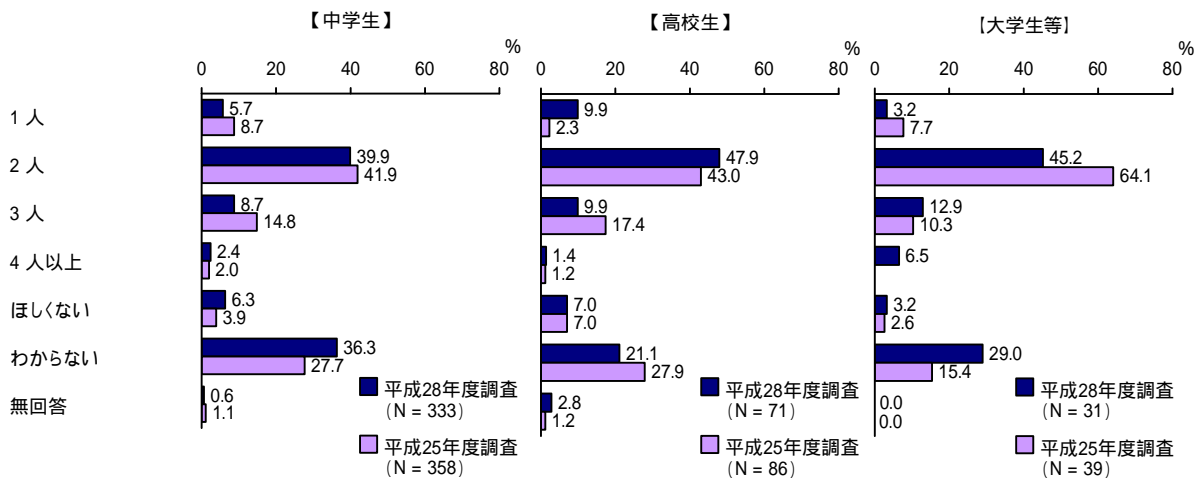
平成25年度調査と比較すると、「3人」の割合が減少しています。

高校生では、「2人」の割合が47.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が21.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1人」の割合が増加し、「3人」の割合が減少しています。

大学生等では、「2人」の割合が45.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.0%、「3人」の割合が12.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「2人」の割合が減少しています。

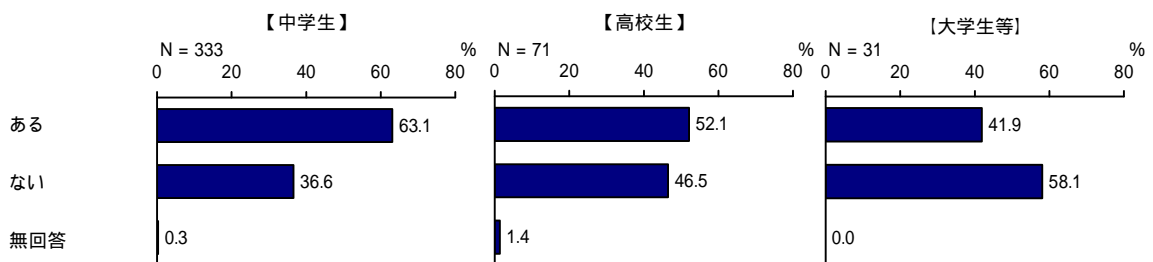


問 28 これまでに赤ちゃん（0歳～1歳くらいまで）を直接お世話（抱っこしたことや、ミルクを飲ませたこと、おむつを替えたことなど）をしたことがありますか（1つに ）

中学生では、「ある」の割合が63.1%、「ない」の割合が36.6%となっています。

高校生では、「ある」の割合が52.1%、「ない」の割合が46.5%となっています。

大学生等では、「ある」の割合が41.9%、「ない」の割合が58.1%となっています。



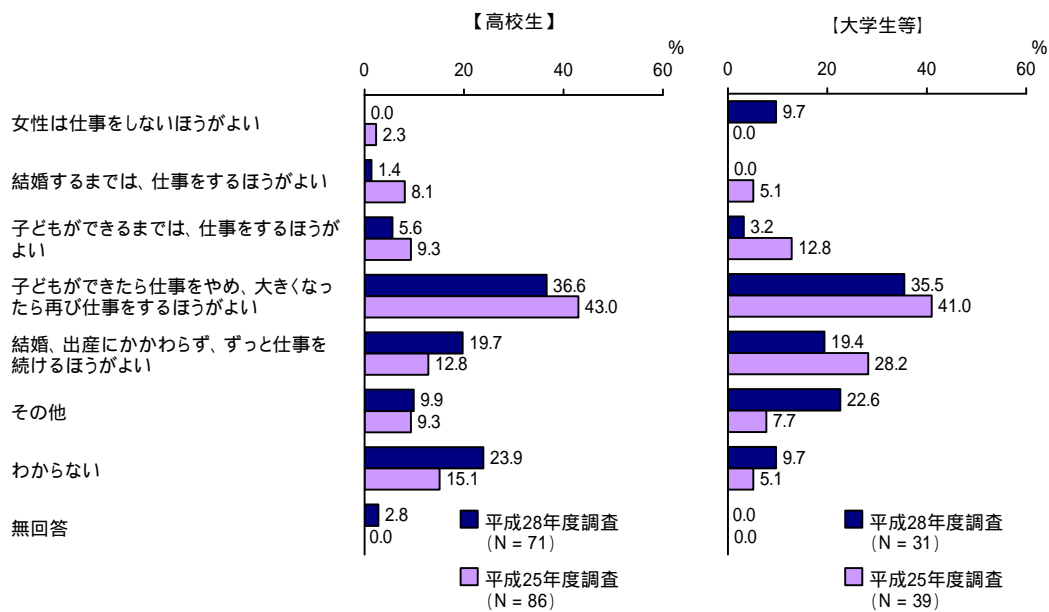
問 29 女性が仕事をするることについて、どう思いますか(もっとも近いもの1つに)

高校生では、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」の割合が 36.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 23.9%、「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の割合が 19.7%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の割合が増加し、「結婚するまでは、仕事をするほうがよい」「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」の割合が減少しています。

大学生等では、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の割合が 19.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「女性は仕事をしないほうがよい」の割合が増加し、「結婚するまでは、仕事をするほうがよい」「子どもができるまでは、仕事をするほうがよい」「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の割合が減少しています。



【性別・年代別】

高校生、大学生の男女で「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		有効回答数(件)	女性が仕事をしないほうがよい	結婚するまでは、仕事をするほうがよい	子どもができるまでは、仕事をするほうがよい	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をするほうがよい	結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい	その他	わからない	無回答
全体		104	2.9	1.0	4.8	35.6	19.2	13.5	19.2	1.9
高校生	男性	33	-	3.0	3.0	42.4	12.1	9.1	30.3	-
	女性	38	-	-	7.9	31.6	26.3	10.5	18.4	5.3
大学生等	男性	12	16.7	-	8.3	25.0	16.7	16.7	16.7	-
	女性	19	5.3	-	-	42.1	21.1	26.3	5.3	-

性別・年代別無回答者数：2人

問 30 家庭での子育てや家事は、どのようにするのがよいと思いますか（1つに ）

中学生では、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が 43.5%と最も高く、次いで「夫婦で分担し協力するのがよい」の割合が 33.3%となっています。

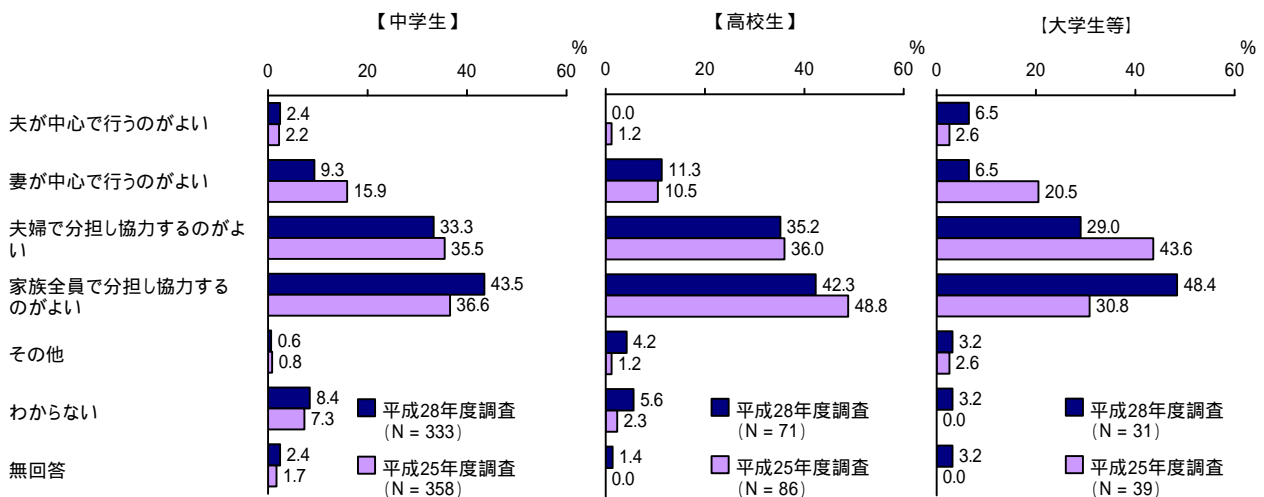
平成 25 年度調査と比較すると、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が増加し、「妻が中心で行うのがよい」の割合が減少しています。

高校生では、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「夫婦で分担し協力するのがよい」の割合が 35.2%、「妻が中心で行うのがよい」の割合が 11.3%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が減少しています。

大学生等では、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が 48.4%と最も高く、次いで「夫婦で分担し協力するのがよい」の割合が 29.0%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が増加し、「妻が中心で行うのがよい」「夫婦で分担し協力するのがよい」の割合が減少しています。



【性別・年代別】

中学生の女性、高校生の女性、大学生の男女で「家族全員で分担し協力するのがよい」の割合が高く、約5割となっています。また、高校生の男性で「夫婦で分担し協力するのがよい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数	夫が中心で行うのがよい	妻が中心で行うのがよい	夫婦で分担し協力するのがよい	家族全員で分担し協力するのがよい	その他	わからない	無回答	
全体	435	2.3	9.4	33.3	43.7	1.4	7.6	2.3	
中学生	男性	169	4.1	8.3	35.5	35.5	0.6	13.6	2.4
	女性	157	0.6	9.6	31.2	52.9	0.6	2.5	2.5
高校生	男性	33	-	9.1	39.4	36.4	6.1	9.1	-
	女性	38	-	13.2	31.6	47.4	2.6	2.6	2.6
大学生等	男性	12	8.3	-	25.0	50.0	-	8.3	8.3
	女性	19	5.3	10.5	31.6	47.4	5.3	-	-

性別・年代別無回答者数：7人

問 31 学校や先生に対して、どのような要望がありますか（あてはまるものすべてに ）

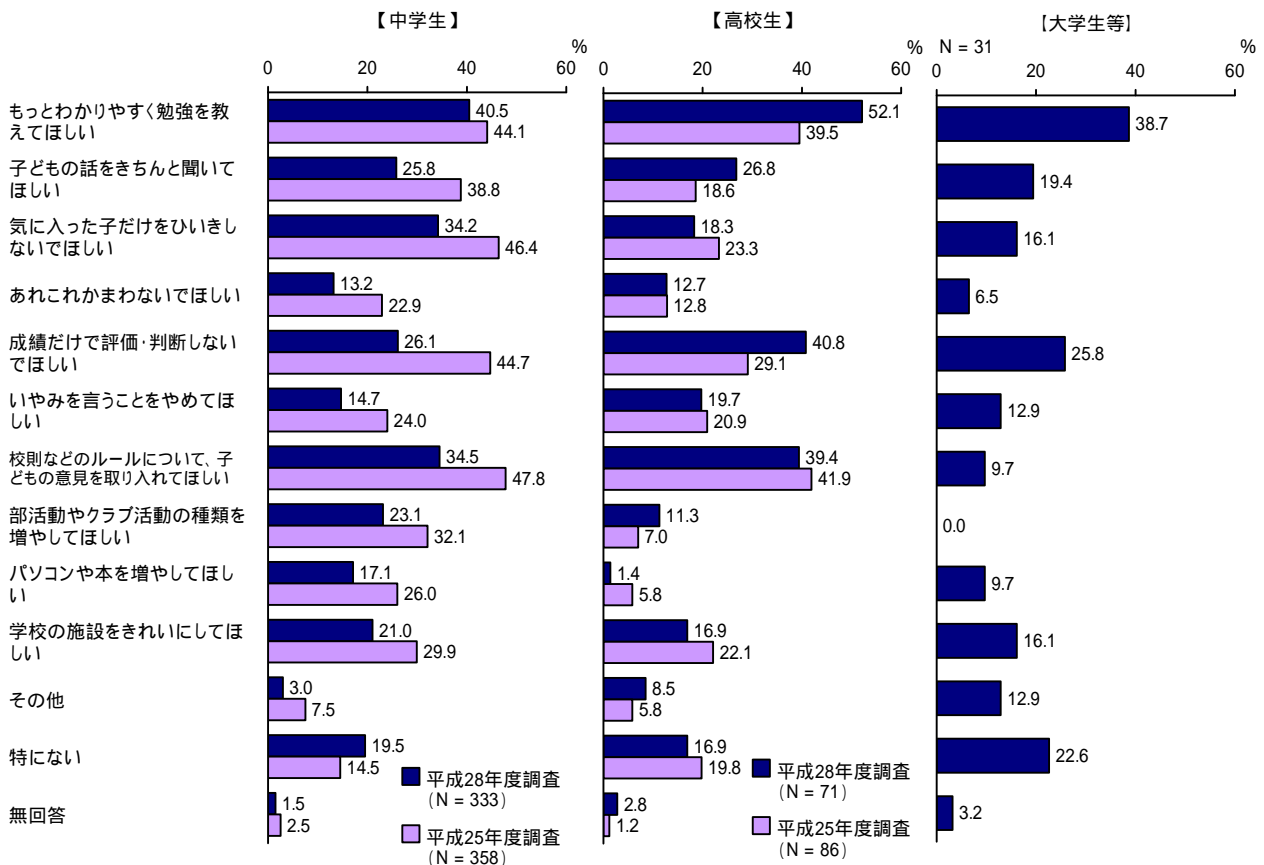
中学生では、「もっとわかりやすく勉強を教えてほしい」の割合が 40.5%と最も高く、次いで「校則などのルールについて、子どもの意見を取り入れてほしい」の割合が 34.5%、「気に入った子だけをひいきしないでほしい」の割合が 34.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加した以外は、すべての項目の割合が減少しています。

高校生では、「もっとわかりやすく勉強を教えてほしい」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「成績だけで評価・判断しないでほしい」の割合が 40.8%、「校則などのルールについて、子どもの意見を取り入れてほしい」の割合が 39.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「もっとわかりやすく勉強を教えてほしい」「子どもの話をきちんと聞いてほしい」「成績だけで評価・判断しないでほしい」の割合が増加し、「気に入った子だけをひいきしないでほしい」「学校の施設をきれいにしてほしい」の割合が減少しています。

大学生等では、「もっとわかりやすく勉強を教えてほしい」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「成績だけで評価・判断しないでほしい」の割合が 25.8%、「特にない」の割合が 22.6%となっています。



問 32 大人になっても墨田区に住みたいと思いますか（1つに ）。

中学生では、「住みたいと思う」と「どちらかというに住みたいと思う」をあわせた“住みたいと思う”の割合が45.6%、「どちらかというに住みたいと思わない」と「住みたいと思わない」をあわせた“住みたいと思わない”の割合が26.4%となっています。

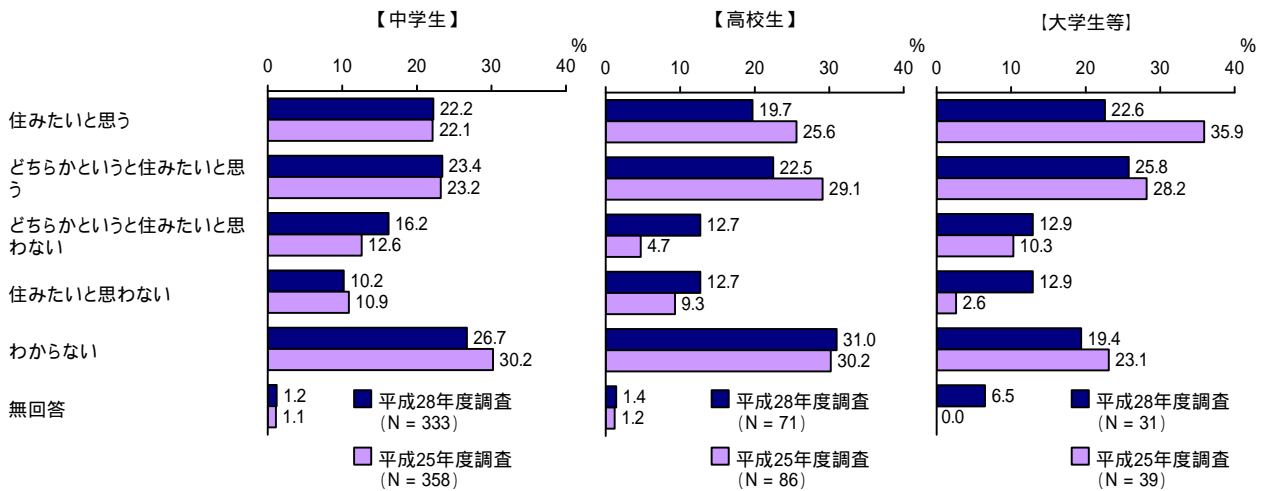
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、“住みたいと思う”の割合が42.2%、“住みたいと思わない”の割合が25.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、“住みたいと思わない”の割合が増加しています。

大学生等では、“住みたいと思う”の割合が48.4%、“住みたいと思わない”の割合が25.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、“住みたいと思わない”の割合が増加しています。



【性別・年代別】

大学生等の男性で“住みたいと思う”の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、大学生等の女性で“住みたいと思わない”の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	住みたいと思う	どちらかというに住みたいと思う	どちらかというに住みたいと思わない	住みたいと思わない	わからない	無回答	
全体	435	21.8	23.4	15.4	10.8	26.9	1.6	
中学生	男性	169	26.6	19.5	10.7	13.0	29.0	1.2
	女性	157	18.5	28.0	21.7	7.0	23.6	1.3
高校生	男性	33	27.3	21.2	15.2	6.1	30.3	-
	女性	38	13.2	23.7	10.5	18.4	31.6	2.6
大学生等	男性	12	25.0	41.7	-	-	25.0	8.3
	女性	19	21.1	15.8	21.1	21.1	15.8	5.3

性別・年代別無回答者数：7人

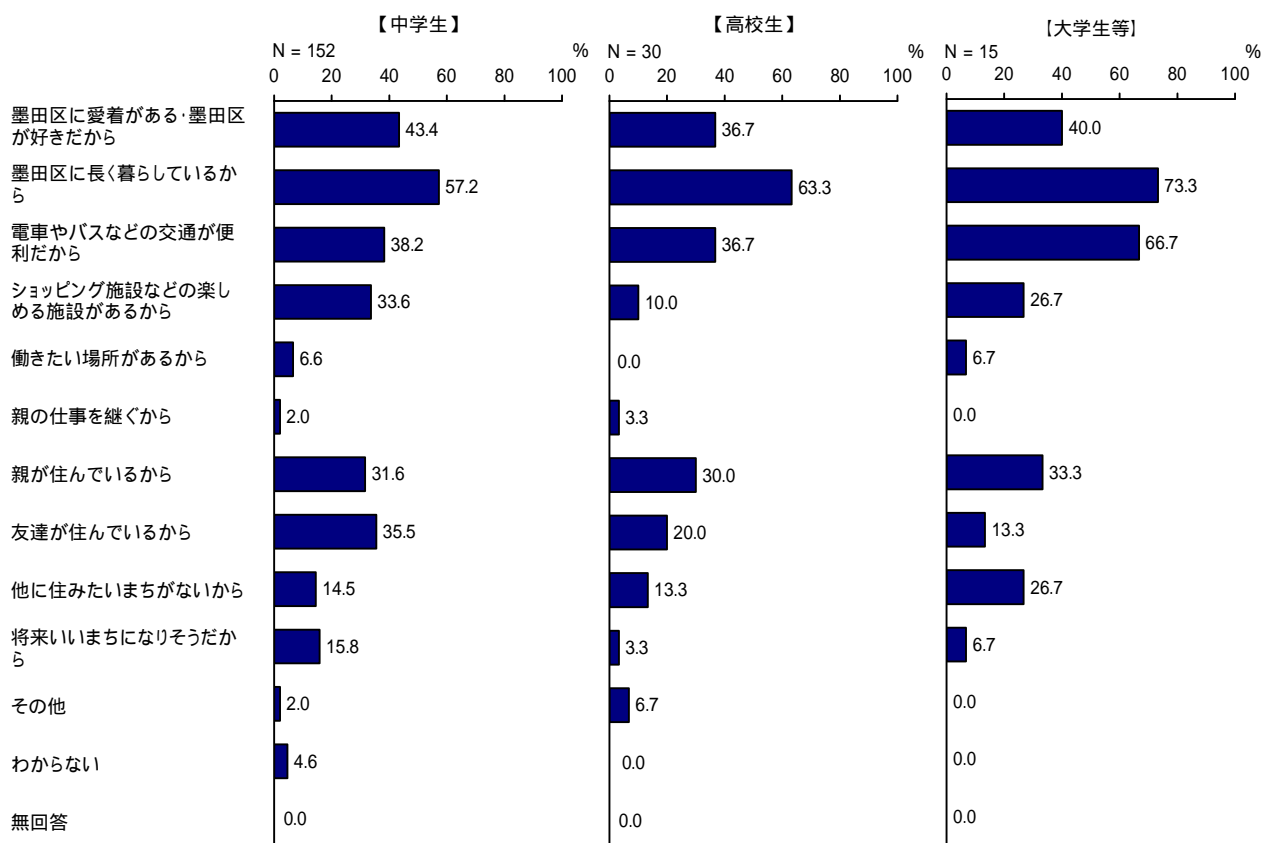
問 32 で「 1 . 住みたいと思う」「 2 . どちらかというに住みたいと思う」に をつけた方にうかがいます。

問 33 大人になっても墨田区に住みたいと思う理由は何ですか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「墨田区に愛着がある・墨田区が好きだから」の割合が 43.4%、「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が 38.2%となっています。

高校生では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「墨田区に愛着がある・墨田区が好きだから」、「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が 36.7%となっています。

大学生等では、「墨田区に長く暮らしているから」の割合が 73.3%と最も高く、次いで「電車やバスなどの交通が便利だから」の割合が 66.7%、「墨田区に愛着がある・墨田区が好きだから」の割合が 40.0%となっています。



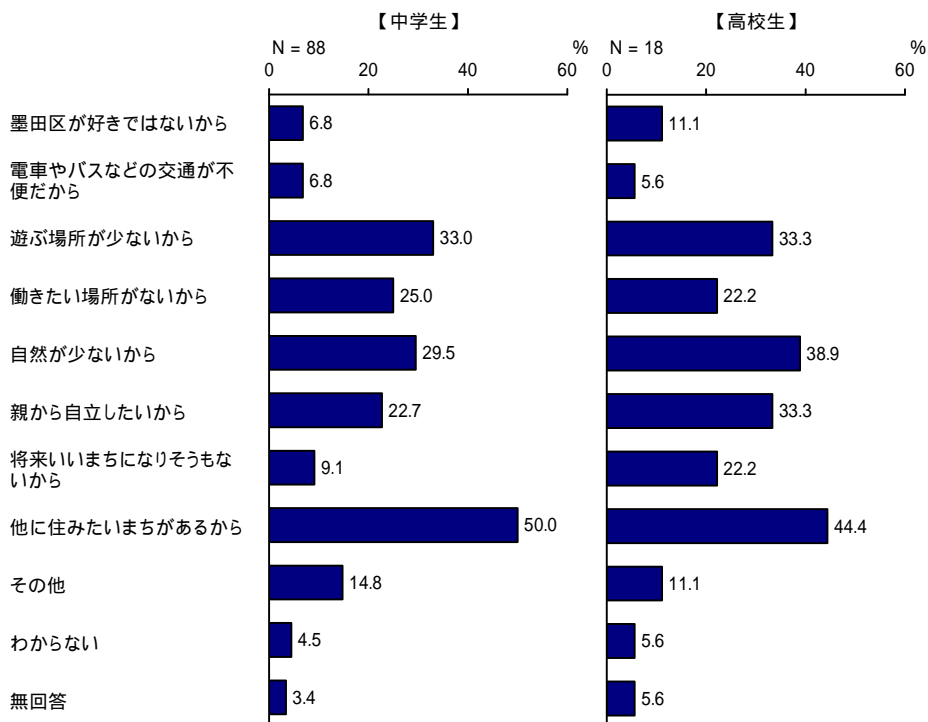
問 32 で「 3 . どちらかというと思わない」「 4 . どちらかというと思わない」に つけた方にかがいます。

問 34 大人になったら墨田区に住みたいと思わない理由は何ですか (あてはまるものすべてに)

中学生では、「他に住みたいまちがあるから」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「遊ぶ場所が少ないから」の割合が 33.0%、「自然が少ないから」の割合が 29.5%となっています。

高校生では、「他に住みたいまちがあるから」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「自然が少ないから」の割合が 38.9%、「遊ぶ場所が少ないから」の割合が 33.3%となっています。

大学生等では、「自然が少ないから」が 4 件、「他に住みたいまちがあるから」が 1 件、「電車やバスなどの交通が不便だから」が 1 件、「親から自立したいから」が 1 件となっています。



大学生等 (N = 8)

中学生・高校生の方に学校生活についてうかがいます。

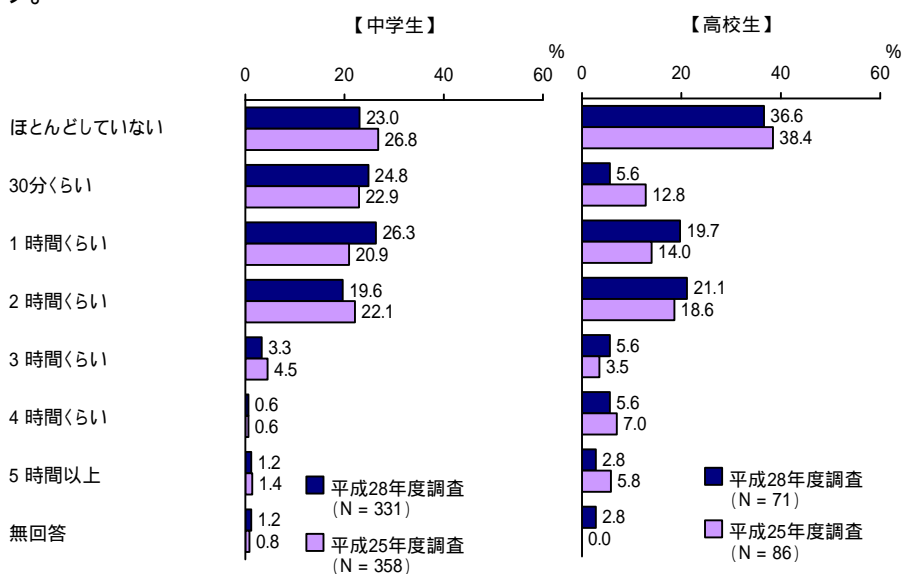
問 35 ふだん、学校以外で1日何時間くらい勉強をしていますか(1つに)

中学生では、「1時間くらい」の割合が26.3%と最も高く、次いで「30分くらい」の割合が24.8%、「ほとんどしていない」の割合が23.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1時間くらい」の割合が増加しています。

高校生では、「ほとんどしていない」の割合が36.6%と最も高く、次いで「2時間くらい」の割合が21.1%、「1時間くらい」の割合が19.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「1時間くらい」の割合が増加し、「30分くらい」の割合が減少しています。



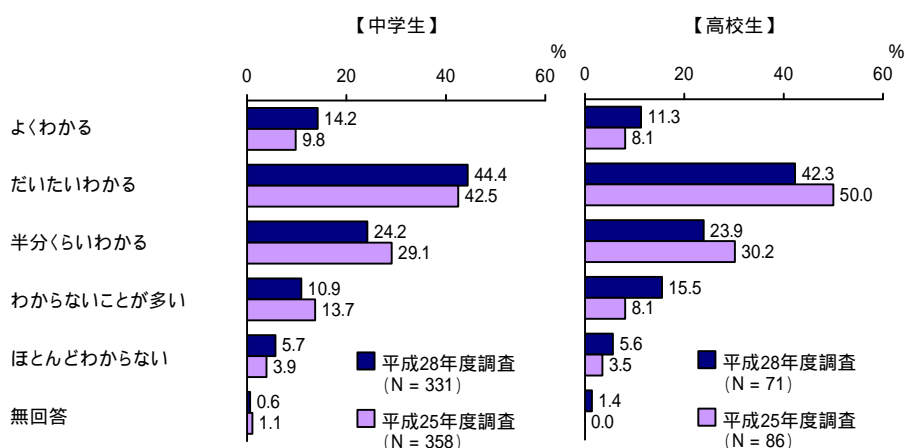
問 36 学校の授業はよくわかりますか(1つに)

中学生では、「だいたいわかる」の割合が44.4%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が24.2%、「よくわかる」の割合が14.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

高校生では、「だいたいわかる」の割合が42.3%と最も高く、次いで「半分くらいわかる」の割合が23.9%、「わからないことが多い」の割合が15.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「わからないことが多い」の割合が増加し、「だいたいわかる」「半分くらいわかる」の割合が減少しています。



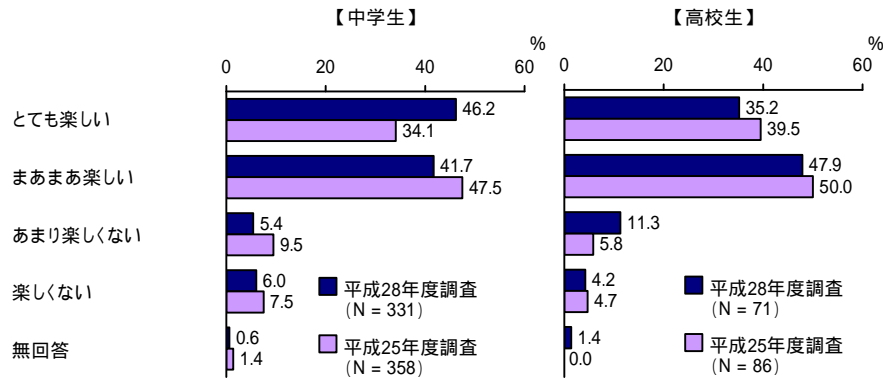
問 37 学校は楽しいですか（1つに ）。

中学生では、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が 87.9%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が 11.4%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合が増加し、「まあまあ楽しい」の割合が減少しています。

高校生では、“楽しい”の割合が 83.1%、“楽しくない”の割合が 15.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、“楽しくない”の割合が増加しています。



問 38 もし、あなたがいじめを受けたらどうしますか（あてはまるものすべてに ）。

中学生では、「友だちに相談する」の割合が 46.8%と最も高く、次いで「親に相談する」の割合が 35.6%、「相手に文句をいう」の割合が 33.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「友だちに相談する」の割合が増加し、「じっと我慢する」「相手に文句をいう」の割合が減少しています。

高校生では、「親に相談する」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「友だちに相談する」の割合が 45.1%、「相手に文句をいう」の割合が 35.2%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、「親に相談する」「先生に相談する」の割合が増加しています。

